

(別紙) 実用新案権目録 1

考案の名称 ケースの扉構造
出願 昭和 59 年 1 2 月 2 5 日
(実願昭 59 - 1 9 9 4 9 8 号)
出願公告 昭和 6 3 年 7 月 2 9 日
(実公昭 6 3 - 2 8 3 0 5 号)
登録日 平成元年 3 月 8 日
登録番号 第 1 7 6 2 8 1 4 号

実用新案登録請求の範囲

別添第 1 実用新案公報の該当欄記載のとおり

構成要件の分説

A 観音開き形式の左右一対の回動扉 4、5 と、両回動扉 4、5 の召合せ間隙 S を閉塞する召合せ部材 12 とを備え、前記召合せ部材 12 は蝶番 14 によって一方の回動扉 4 に上下方向の枢支軸 18 廻りに回動自在に取付けられて、該召合せ部材 12 は、回動扉 4、5 の内面側で召合せ部間隙 S を閉塞する閉塞姿勢 A と、他方の回動扉 5 との衝突を回避すべく 90 度以内の範囲で後方回動した回避姿勢 B とに回動自在とされ、召合せ部材 12 を回避姿勢 B 方向に付勢するコイルバネ 20 が設けられ、一方の回動扉 4 の閉塞時に、召合せ部材 12 内面側と相対移動自在に当接して、召合せ部材 12 を閉塞姿勢 A とさせる受承面部 23 がケース本体 2 側に設けられた扉構造において、

- B 前記蝶番 14 は、回動扉 4 の自由端に固定される固定翼 15 と、召合せ部材 12 が取付けられる可動翼 17 とを有し、固定翼 15 には、上下一対の支持部 25、26 と該支持部 25、26 を回動扉 4 の枢支側で上下に連結する連結壁 27 とが一体に設けられ、支持部 25、26 間に前記上下方向の枢支軸 18 の上下両端部が嵌合保持され、
- C 前記可動翼 17 には、召合せ部材 12 が取付けられる取付部 29 と、該取付部 29 から固定翼 15 の支持部 25、26 間に内嵌するように突出した枢支部 30 とが一体に設けられ、該取付部 29 には、召合せ部材 12 の内面基部側のコーナ部 12a を内嵌する平面 L 字形の取付面 29a が形成され、
- D 前記枢支部 30 に、召合せ部材 12 が回動扉 4 に対して枢支軸 18 廻り回動自在になるように、前記枢支軸 18 の中途部が挿通され、枢支部 30 の上下方向中央部には枢支軸 18 中央部を露出させるように切欠部 31 が設けられ、該切欠部 31 内に、枢支軸 18 に巻回した状態で前記コイルバネ 20 が収納され、枢支部 30 の内面側に、前記召合せ部材 12 の回動を前記回避姿勢 B で規制するように連結壁 27 に面接当する規制傾斜面 22 が設けられている
- E ことを特徴とするケースの扉構造。

(別紙) 実用新案権目録 2

考案の名称 ケースの扉構造
出願 昭和 59 年 1 2 月 2 5 日
(実願昭 6 3 - 3 0 4 0 8 号)
(実願昭 5 9 - 1 9 9 4 9 8 号の
分割)
出願公告 平成元年 4 月 7 日
(実公平 1 - 1 1 9 1 3 号)
登録日 平成元年 1 1 月 1 3 日
登録番号 第 1 7 9 6 3 2 5 号
実用新案登録請求の範囲

別添第 2 実用新案公報の該当欄記載のとおり
構成要件の分説

A 観音開き形式の左右一对の回動扉 4、5 と、両回動扉 4、5 の召合せ部間隙 S を閉塞する召合せ部材 12 とを備え、前記召合せ部材 12 は蝶番 14 によって一方の回動扉 4 に上下方向の枢支軸 18 廻りに回動自在に取り付けられて、該召合せ部材 12 は、回動扉 4、5 の内面側で召合せ部間隙 S を閉塞する閉塞姿勢 A と、他方の回動扉 5 との衝突を回避すべく後方回動した回避姿勢 B とに回動自在とされ、召合せ部材 12 を回避姿勢 B 方向に付勢するコイルバネ 20 が設けられ、一方の回動扉 4 の閉塞時に、召合せ部材 12 内面側と相対移動自在に当接して、召合せ部材 12 を閉塞姿勢 A とさせ

る受承面部 23 がケース本体 2 側に設けられた扉構造において、

- B 前記蝶番 14 は、回動扉 4 の自由端に固定される固定部材 15 と、召合せ部材 12 が取付けられる可動部材 17 とを有し、固定部材 15 には、上下一対の支持部 25、26 が設けられ、支持部 25、26 間に前記上下方向の枢支軸 18 の上下両端部が支持され、
- C 前記可動部材 17 には、召合せ部材 12 が取付けられる取付部 29 と、該取付部 29 から固定部材 15 の支持部 25、26 間に突出した枢支部 30 とが設けられ、該取付部 29 には、召合せ部材 12 の内面基部側のコーナ部 12a を内嵌する取付面 29a が形成され、
- D 前記枢支部 30 に、召合せ部材 12 が回動扉 4 に対して枢支軸 18 廻り回動自在になるように、前記枢支軸 18 の中途部が挿通され、枢支部 30 の上下方向中央部には枢支軸 18 中央部を露出させるように切欠部 31 が設けられ、該切欠部 31 内に、枢支軸 18 に巻回した状態で前記コイルバネ 20 が収納されている
- E ことを特徴とするケースの扉構造。

(別紙) 実用新案権目録 3

考案の名称 召合せ部材取付け用ヒンジ
出願 平成元年 4 月 7 日
(実願平 1 - 4 1 4 2 2 号)
出願公告 平成 7 年 7 月 3 1 日
(実公平 7 - 3 2 8 4 9 号)
登録日 平成 8 年 3 月 2 2 日
登録番号 第 2 1 1 1 4 7 8 号

実用新案登録請求の範囲

別添第 3 実用新案公報の該当欄記載のとおり
構成要件の分説

- A 観音開き形式の左右一对の回動扉 20、21 のうちの一方の回動扉 20 に、召合せ部材 22 を、回動扉 20、21 の召合せ部間隙 S を閉塞する閉塞姿勢 A と他方の回動扉 21 との衝突を回避する回避姿勢 B とに回動自在になるように取付けるための召合せ部材取付け用ヒンジであって、
- B 一方の回動扉 20 の自由端に固定される固定部材 2 と、前記召合せ部材 22 を取り付ける可動部材 3 と、召合せ部材 22 を前記回避姿勢 B に付勢するバネ 4 とを有する召合せ部材取付け用ヒンジにおいて、
- C 前記可動部材 3 は弾性を有する合成樹脂にて形成され、召合せ部材 22 を外嵌保持するように、可動部材 3 に召合せ部材 22 と略同幅に形成された取付部 11 が設

けられると共に該取付部 11 の幅方向両端に召合せ部材 22 を幅方向に抱着挟持する一对の挟持壁 12a、12b が設けられ、一对の挟持壁 12a、12b は、該挟持壁 12a、12b の先端部間の幅が召合せ部材 22 の幅よりも小となるように、取付部 11 の幅方向両端から鉤形に屈曲されていることを特徴とする召合せ部材取付け用ヒンジ。

(別紙) 意匠権目録

出願	平成元年3月31日 (意願平1-11985号)
登録日	平成6年4月22日
登録番号	第902691号
意匠に係る物品	家具の回動扉用ヒンジ
意匠の内容	別添意匠公報のとおり

別紙イ号物件目録

イ号物件の説明

一、図面の説明

第1図はマジックヒンジの正面斜視図である。

第2図は同背面斜視図である。

第3図は箱体への取付状態を示す斜視図である。

第4図は開閉動作状態図である。

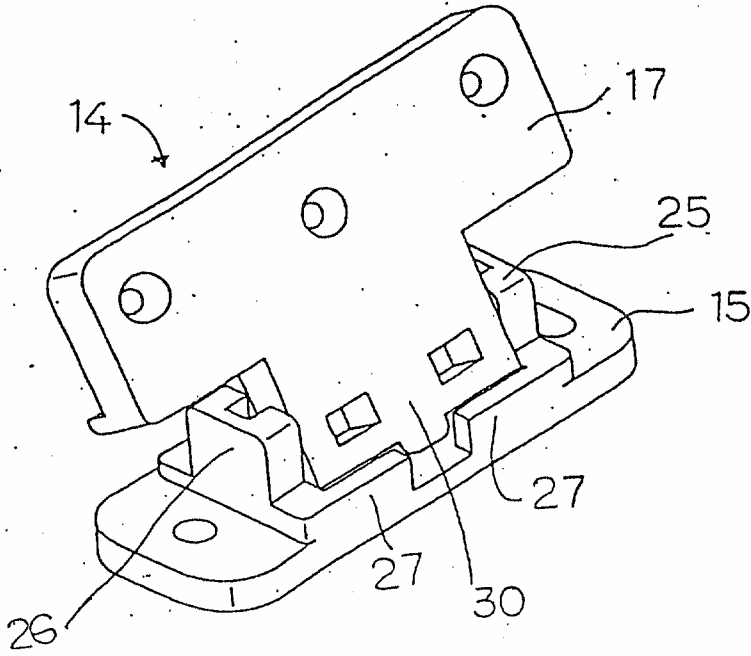
二、イ号物件の構造の説明

イ号物件は、次の構成を有する。

- a 観音開き形式の左右一対の回動扉4、5と、両回動扉4、5の召合せ部間隙Sを閉塞する召合せ部材12とを備え、前記召合せ部材12は蝶番14によって一方の回動扉4に上下方向の枢支軸18廻りに回動自在に取付けられて、該召合せ部材12は、回動扉4、5の内面側で召合せ部間隙Sを閉塞する閉塞姿勢Aと、他方の回動扉5との衝突を回避すべく後方回動した回避姿勢Bとに回動自在とされ、召合せ部材12を回避姿勢B方向に付勢するコイルバネ20が設けられ、一方の回動扉4の閉塞時に、召合せ部材12内面側と相対移動自在に当接して、召合せ部材12を閉塞姿勢Aとさせる受承面部23がケース本体2側に設けられた扉構造に使用される蝶番であって、

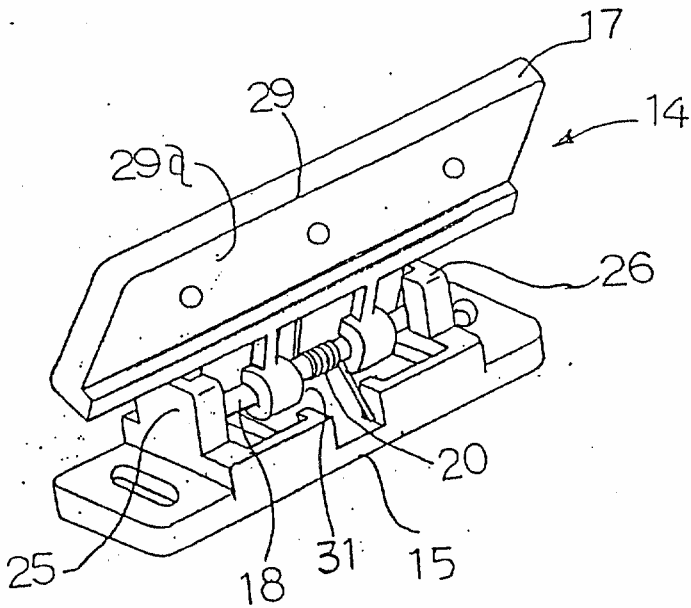
- b 前記蝶番 14 は、回動扉 4 の自由端に固定される固定部材 15 と、召合せ部材 12 が取付けられる可動部材 17 とを有し、固定部材 15 には、上下一対の支持部 25、26 が設けられ、支持部 25、26 間に前記上下方向の枢支軸 18 の上下両端部が支持され、
- c 前記可動部材 17 には、召合せ部材 12 が取付けられる取付部 29 と、該取付部 29 から固定部材 15 の支持部 25、26 間に突出した枢支部 30 とが設けられ、該取付部 29 には、召合せ部材 12 の内面基部側のコーナー部 12 a を内嵌する取付面 29 a が形成され、
- d 前記枢支部 30 に、召合せ部材 12 が回動扉 4 に対して枢支軸 18 廻り回動自在になるように、前記枢支軸 18 の中途部が挿通され、枢支部 30 の上下方向中央部には枢支軸 18 中央部を露出させるように裏側の空間部 31 が設けられ、該空間部 31 内に、枢支軸 18 に巻回した状態で前記コイルバネ 20 が収納されている。

第 1 圖

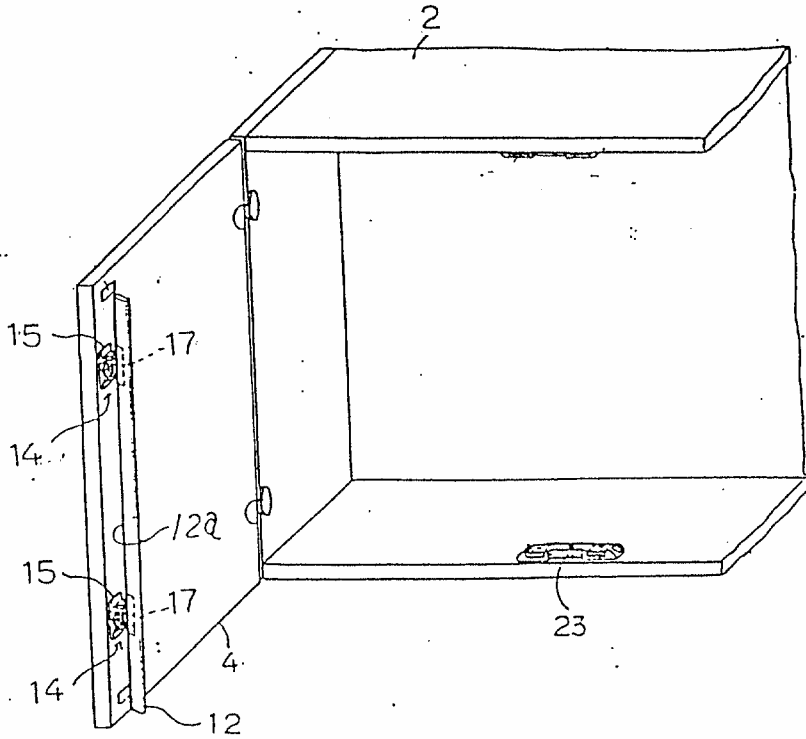


イ号四面

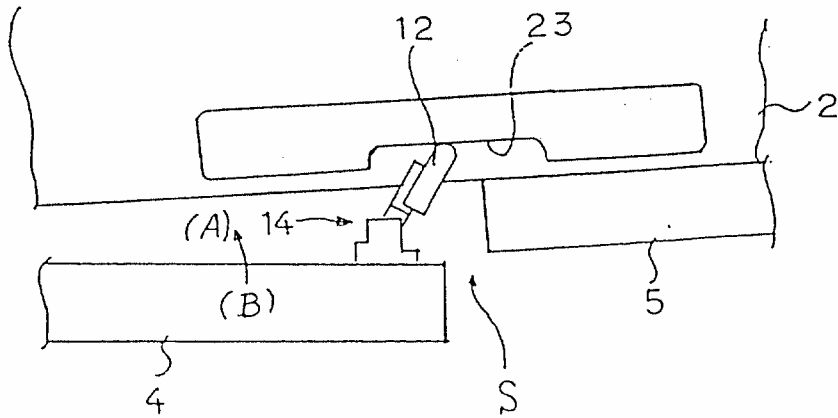
第 2 圖



第 3 図



第 4 図



別紙口号物件目録

口号物件の説明

一、図面の説明

第 1 図は規制傾斜面が見えるように可動翼を少し回動させた状態におけるマジックヒンジの正面斜視図である。

第 2 図は同背面斜視図である。

第 3 図は箱体への取付状態を示す斜視図である。

第 4 図は開閉動作状態図である。

第 5 図はマジックヒンジの閉塞姿勢における正面図である。

第 6 図は同側面図である。

第 7 図は同背面図である。

第 8 図は自由状態におけるマジックヒンジの正面斜視図である。

第 9 図は第 8 図における中央部の断面図である。

二、口号物件の構造の説明

口号物件は、次の構成を有する。

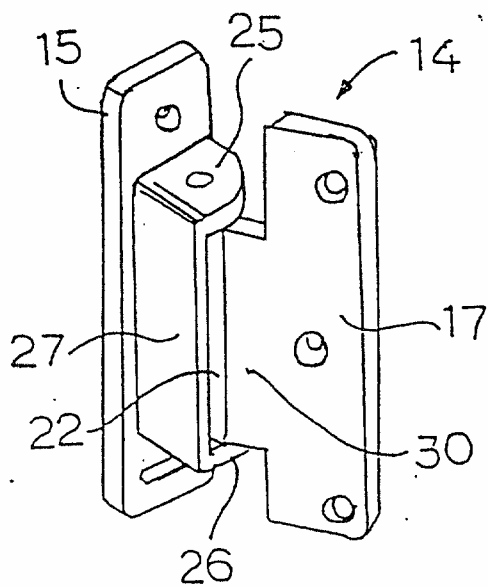
- a 観音開き形式の左右一対の回動扉 4、5 と、両回動扉 4、5 の召合せ部間隙 S を閉塞する召合せ部材 12 とを備え、前記召合せ部材 12 は蝶番 14 によって一方の回動扉 4 に上下方向の枢支軸 18 廻りに回動自在に取付けられて、該召合せ部材 12 は、回動扉 4、5 の内面側で召合せ部間

隙 S を閉塞する閉塞姿勢 A と、他方の回動扉 5 との衝突を回避すべく 90 度以内の範囲で後方回動した回避姿勢 B とに回動自在とされ、召合せ部材 12 を回避姿勢 B 方向に付勢するコイルバネ 20 が設けられ、一方の回動扉 4 の閉塞時に、召合せ部材 12 内面側と相對移動自在に当接して、召合せ部材 12 を閉塞姿勢 A とさせる受承面部 23 がケース本体 2 側に設けられた扉構造に使用される蝶番 14 であって、

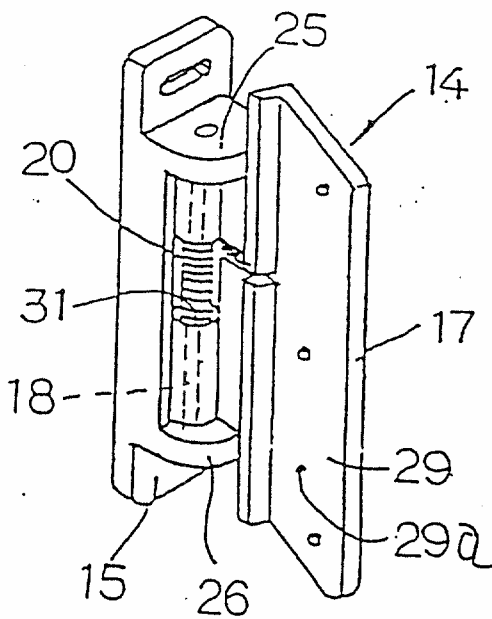
- b 前記蝶番 14 は、回動扉 4 の自由端に固定される固定翼 15 と、召合せ部材 12 が取付けられる可動翼 17 とを有し、固定翼 15 には、上下一対の支持部 25、26 と該支持部 25、26 を回動扉 4 の枢支側で上下に連結する連結壁 27 とが一体に設けられ、支持部 25、26 間に前記上下方向の枢支軸 18 の上下両端部が嵌合保持され、
- c 前記可動翼 17 には、召合せ部材 12 が取付けられる取付部 29 と、該取付部 29 から固定翼 15 の支持部 25、26 間に内嵌するように突出した枢支部 30 とが一体に設けられ、該取付部 29 には、召合せ部材 12 の内面基部側のコーナ部 12a を内嵌する平面 L 字形の取付面 29a が形成され、
- d 前記枢支部 30 に、召合せ部材 12 が回動扉 4 に対して枢支軸 18 廻り回動自在になるように、前記枢支軸 18 の中途部が挿通され、第 5 図および第 7 図に示すように、枢支部 30 の上下方向中央部には枢支軸 18 中央部を露出させるように枢支部 30 の表面から裏面にまでわたる切

欠部 31 が設けられ、該切欠部 31 内に、枢支軸 18 に巻回した状態で前記コイルバネ 20 が収納され、枢支部 30 の内面側に、前記召合せ部材 12 の回動を前記回避姿勢 B で規制するように連結壁 27 に面接当する規制傾斜面 22 が設けられている。

第 1 圖

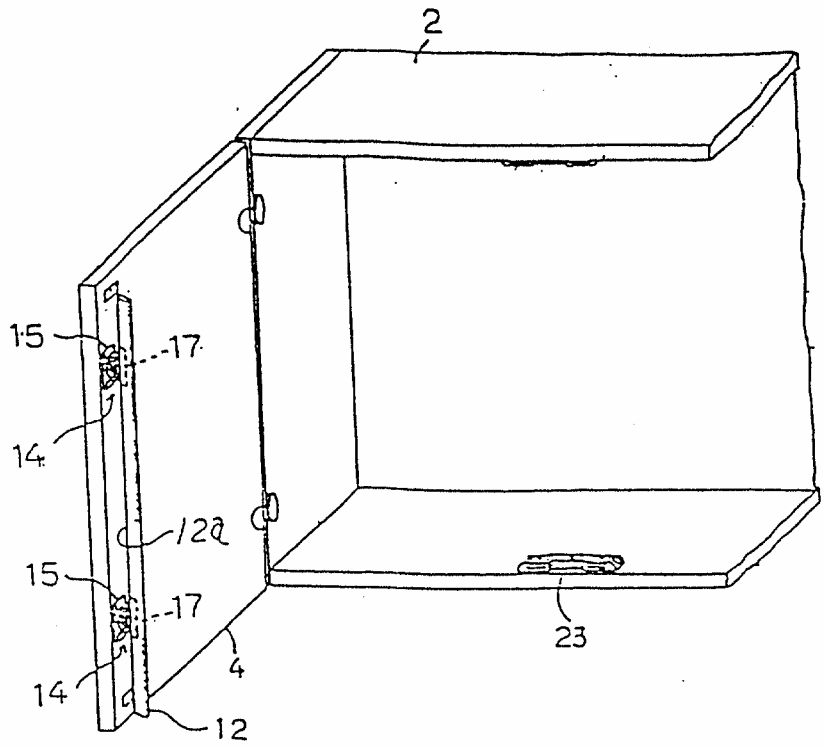


第 2 圖

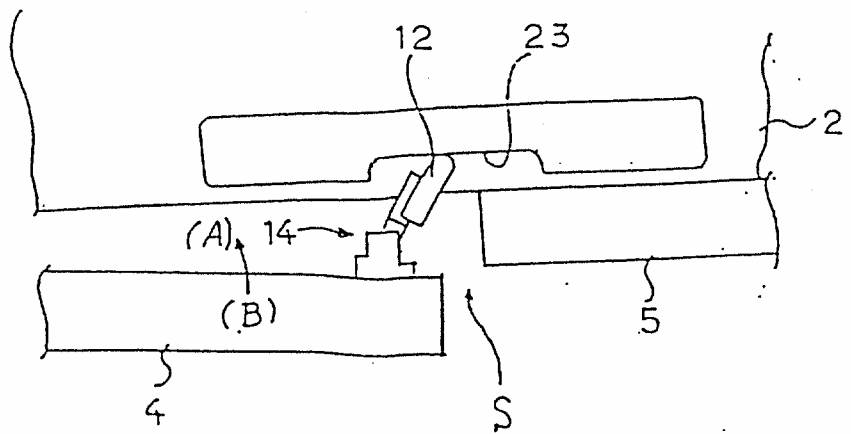


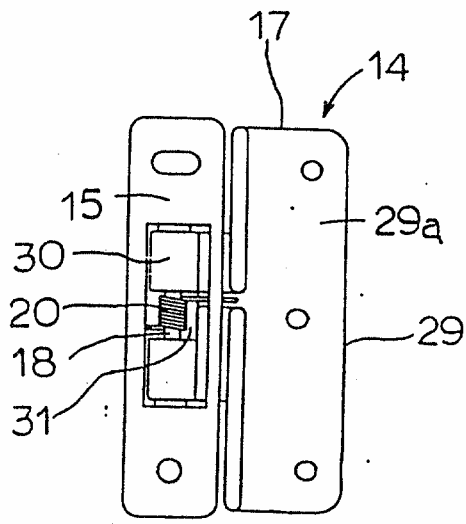
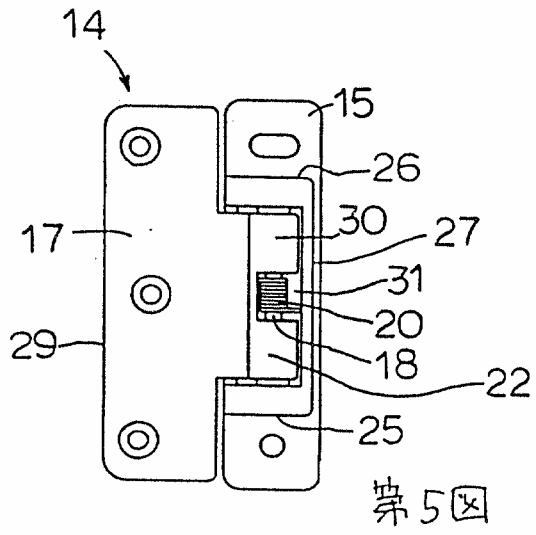
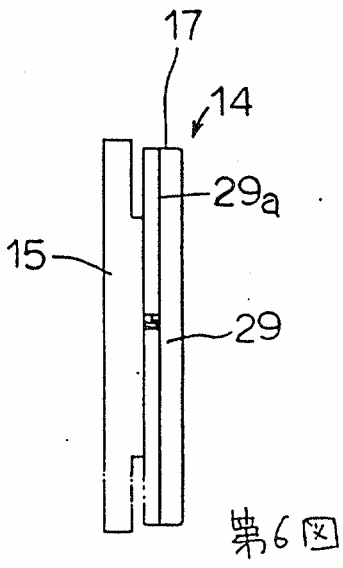
日本國圖式

第3図



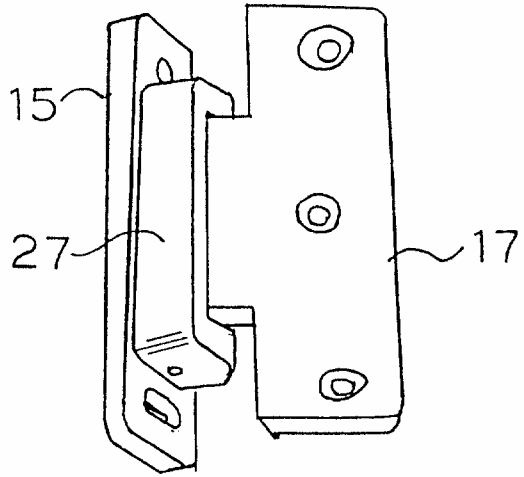
第4図



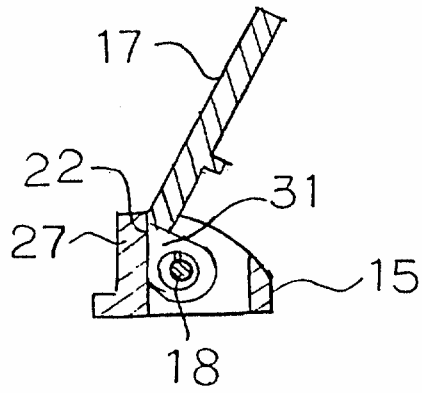


第7图

第 8 图



第 9 图



別紙ハ号物件目録

ハ号物件の説明

一、図面の説明

図 1 ～ 図 6 は可動部材が開いた状態にあるマジックヒンジの図面であって、図 1 は平面図、図 2 は左側面図、図 3 は正面図、図 4 は右側面図、図 5 は底面図、図 6 は背面図である。

図 7 ～ 図 12 は可動部材が閉じた状態にあるマジックヒンジの図面であって、図 7 は平面図、図 8 は左側面図、図 9 は正面図、図 10 は右側面図、図 11 は背面図、図 12 は底面図である。

図 13 は可動部材が開いた状態にあるマジックヒンジの正面斜視図、図 14 は可動部材が開いた状態にあるマジックヒンジの図面であって、可動部材を一部切り欠いた背面斜視図である。

図 15 ～ 図 20 はマジックヒンジを構成する固定部材の図面であって、図 15 は平面図、図 16 は左側面図、図 17 は正面図、図 18 は右側面図、図 19 は背面図、図 20 は底面図である。

図 21 ～ 図 26 はマジックヒンジを構成する可動部材の図面であって、図 21 は平面図、図 22 は左側面図、図 23 は正面図、図 24 は右側面図、図 25 は背面図、図 26 は底面図である。

図 27 はこのマジックヒンジの箱体への取付け状態を示す参考斜視図である。

二、ハ号物件の構造の説明

ハ号物件は、次の構成を有する。

- a 観音開き形式の左右一对の回動扉 4、5 と、両回動扉 4、5 の召合せ部間隙 S を閉塞する召合せ部材 12 とを備え、前記召合せ部材 12 は蝶番（ヒンジ）14 によって一方の回動扉 4 に上下方向の枢支軸 18 廻りに回動自在に取付けられて、該召合せ部材 12 は、回動扉 4、5 の内面側で召合せ部間隙 S を閉塞する閉塞姿勢 A と、他方の回動扉 5 との衝突を回避すべく後方回動した回避姿勢 B とに回動自在とされ、召合せ部材 12 を回避姿勢 B 方向に付勢するコイルバネ 20 が設けられ、一方の回動扉 4 の閉塞時に、召合せ部材 12 内面側と相対移動自在に当接して、召合せ部材 12 を閉塞姿勢 A とさせる受承面部 23 がケース本体 2 側に設けられた扉構造に使用される蝶番 14 であって、
- b 前記蝶番 14 は、回動扉 4 の自由端に固定される固定部材 15 と、召合せ部材 12 が取付けられる可動部材 17 とを有し、固定部材 15 には、上下一対の支持部 25、26 が設けられ、支持部 25、26 間に前記上下方向の枢支軸 18 の上下両端部が支持され、
- c 前記可動部材 17 には、召合せ部材 12 が取付けら

- れる取付部 29 と、該取付部 29 から固定部材 15 の支持部 25、26 間に突出した枢支部 30 とが設けられ、該取付部 29 には、召合せ部材 12 の内面基部側のコーナ部 12 a を内嵌する取付面 29 a が形成され、
- d 前記枢支部 30 に、召合せ部材 12 が回動扉 4 に対して枢支軸 18 廻り回動自在になるように、前記枢支軸 18 の中途部が挿通され、枢支部 30 の上下方向中央部には枢支軸 18 中央部を露出させるように裏側の空間部 31 が設けられ、該空間部 31 内に、枢支軸 18 に巻回した状態で前記コイルバネ 20 が収納されており、
- e 前記可動部材 17 は弾性を有する合成樹脂にて形成され、召合せ部材 12 を外嵌保持するように、可動部材 17 に召合せ部材 12 と略同幅に形成された取付部 29 が設けられると共に該取付部 29 の幅方向両端に召合せ部材 12 を幅方向に抱着挟持する一対の挟持壁 17 a、17 b が設けられ、一対の挟持壁 17 a、17 b は、該挟持壁 17 a、17 b の先端部間の幅が召合せ部材 12 の幅よりも小となるように、取付部 29 の幅方向両端から鉤形に屈曲されていることを特徴とする召合せ部材取付用ヒンジ（蝶番 14）。

三、ハ号物件の意匠（以下、「ハ号意匠」という）は、次のとおりである。

- 1、ハ号意匠に係わる物品は、家具の回動扉用ヒン

ジであって、とりわけタンス、水屋等の観音開き形式の左右一对の回動扉を備えた家具の回動扉に取り付けられるヒンジである。

2、基本的構成

ハ号意匠は、回動扉の自由端に固定される固定部材と、召合せ部材が取付けられる可動部材とが回動自在に枢支されてなる構成である。

3、具体的構成

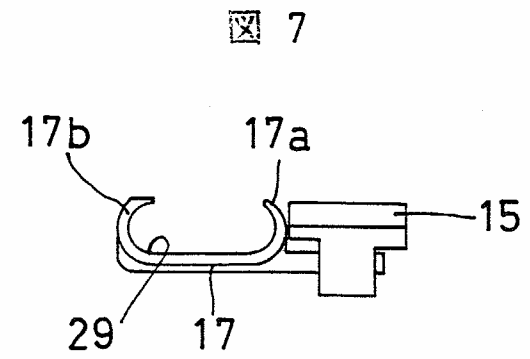
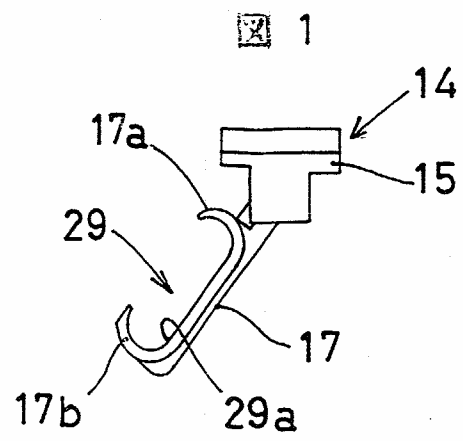
イ、固定部材は、四隅を弧形状とした縦長の長方形形状であり、その上部に取付用の真円形状の孔が形成され、その下部には取付用の長孔が形成され、その中央部には上下一対の支持部と該支持部を連結する高さの低い連結壁とが突設形成され、該連結壁の上下方向中央部に凹部が形成されると共に、背面側で前記支持部に対応する位置で上下一対の横長手長方形形状の窓孔が形成が形成されている。

ロ、可動部材は、正面視において長方形形状であり、召合せ部材が取付けられる取付部と、前記固定部材の支持部間に内嵌される枢支部とから構成され、

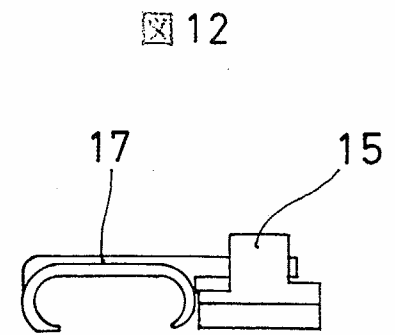
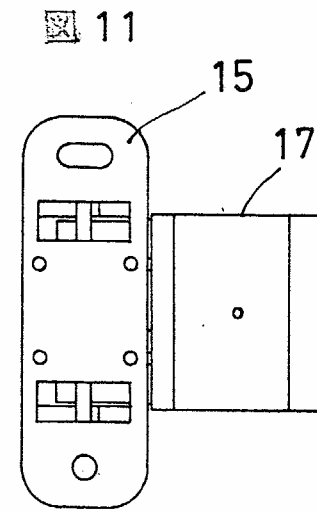
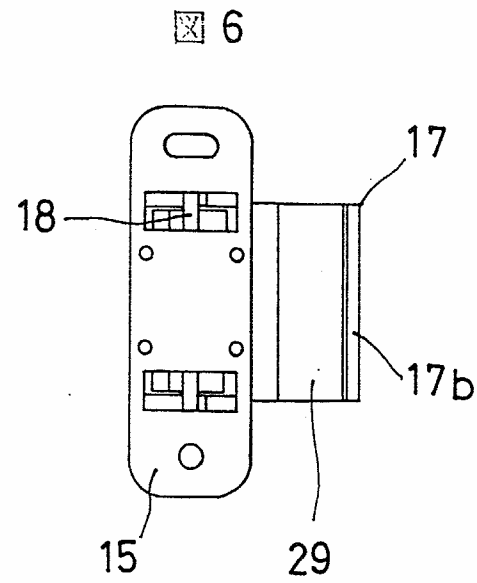
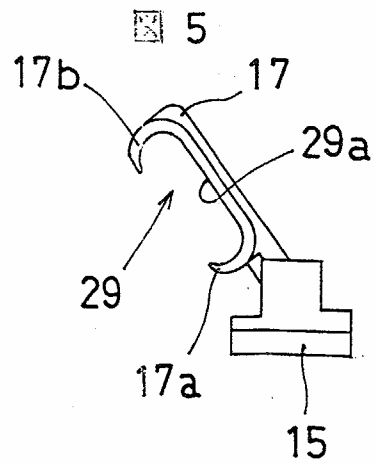
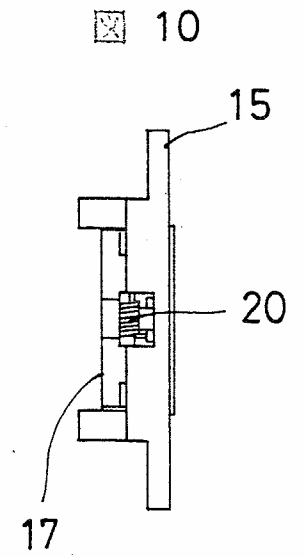
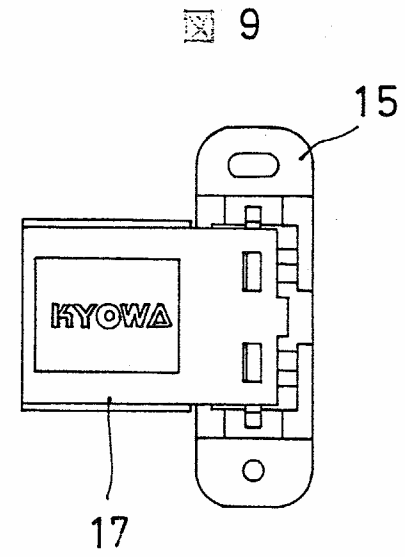
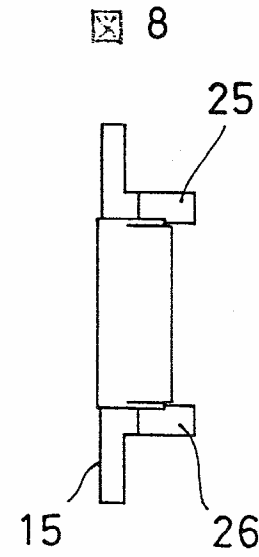
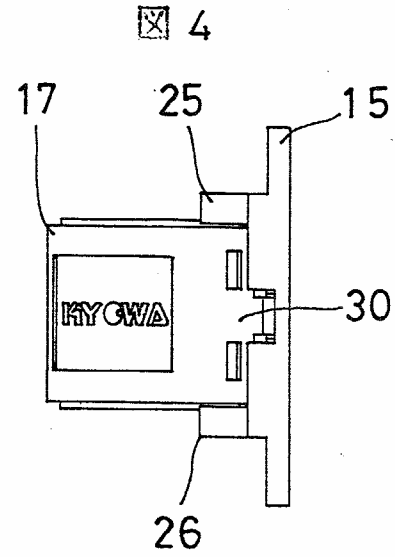
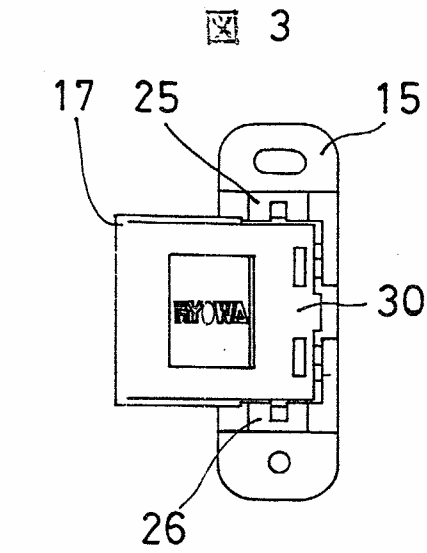
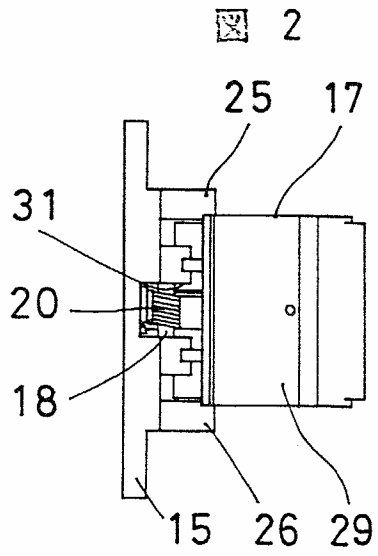
前記取付部は、その表面側に方形形状の凹部を形成し、召合せ部材固定用の小孔を形成すると共に、

その裏面側において左右一対の C 形状の突片が対向状に形成され、

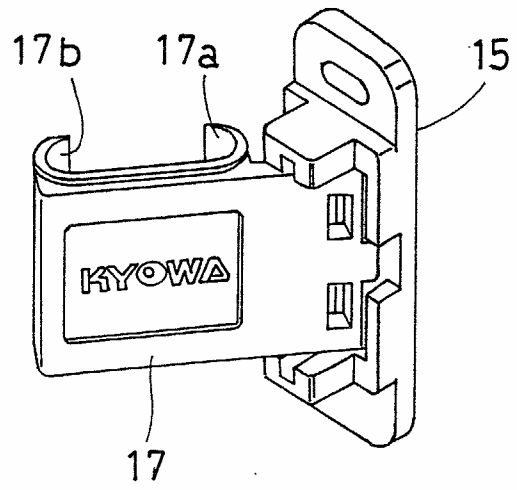
前記枢支部は、枢支軸挿通用の円筒状に形成され、該円筒状部分の上下端部及び上下方向中央部に裏側の空間部が形成され、枢支部の上下方向中央部の端縁に固定部材側に突出する舌片を設け、前記中央部の空間部から枢支軸とコイルバネとが露呈している。



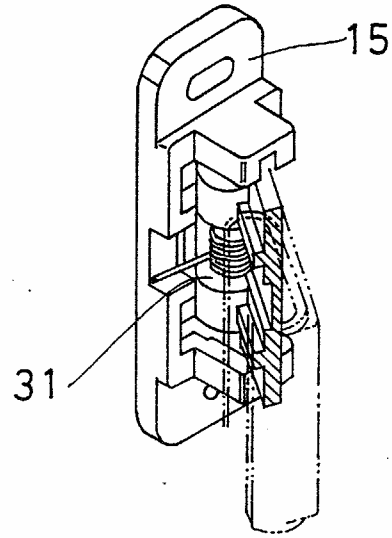
八
号
四



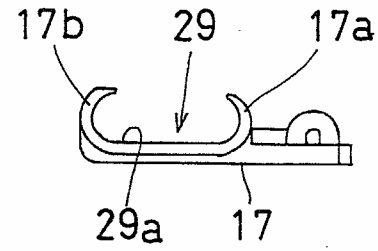
13



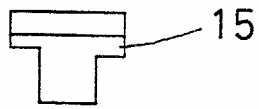
14



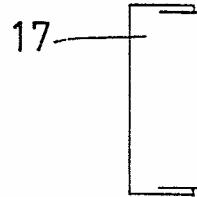
21



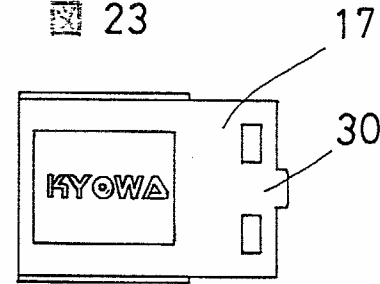
15



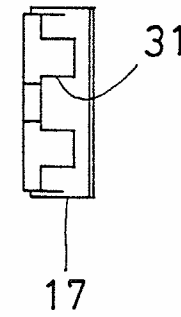
22



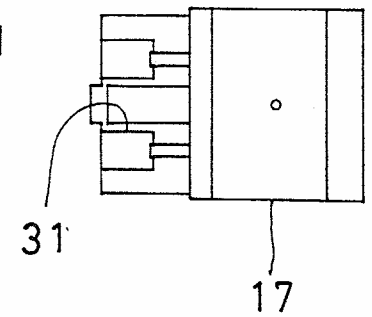
23



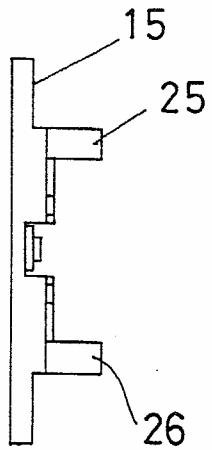
24



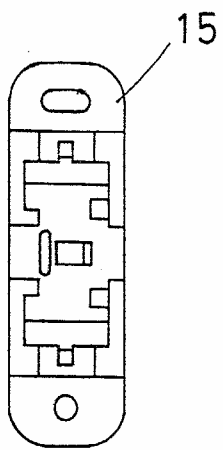
25



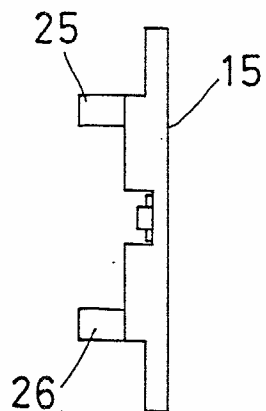
16



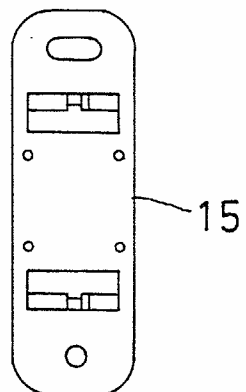
17



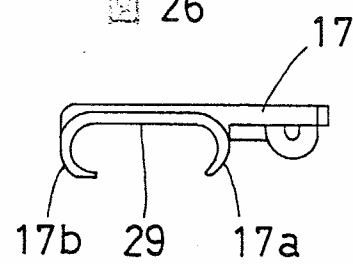
18



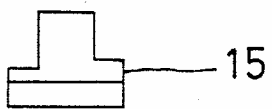
19



26



20



27

2

4 (5)

15

17

14

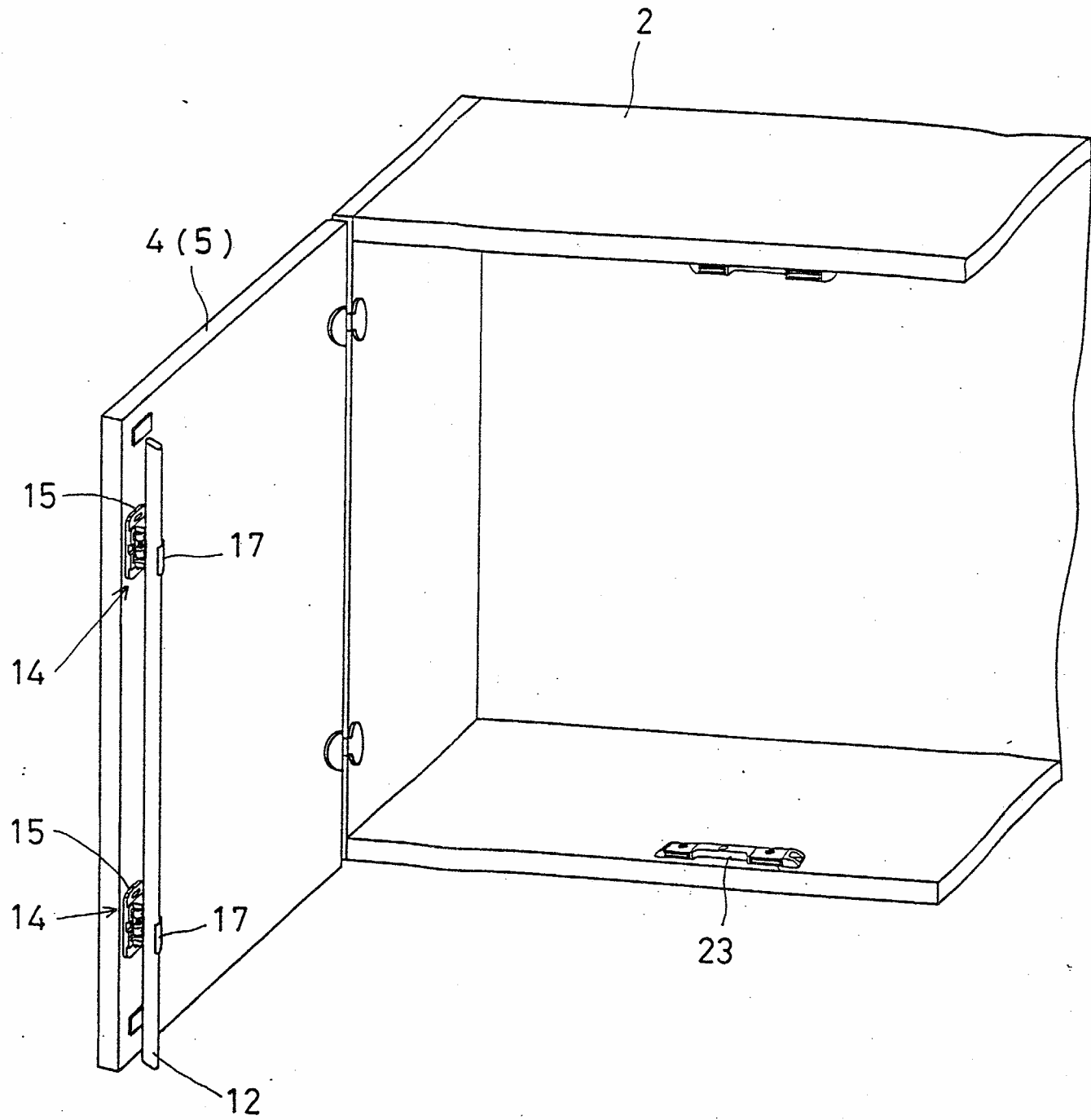
15

14

17

23

12



別紙二号物件目録

二号物件の説明

左の構造を有する蝶番(以下、『マジックヒンジ』という)

一、図面の説明

第 1 図はマジックヒンジの回避姿勢における正面側からの斜視図である。

第 2 図はマジックヒンジの閉塞姿勢における正面側からの斜視図である。

第 3 図はマジックヒンジの正面側からの分解斜視図である。

第 4 図はマジックヒンジの背面側からの分解斜視図である。

第 5 図はマジックヒンジの箱体への取付状態を示す斜視図である。

第 6 図はマジックヒンジの開閉動作状態図である。

第 7 図はマジックヒンジの枢支部の成形について説明する説明図である。

二、二号物件の構造の説明

二号物件は次の構造を有する。

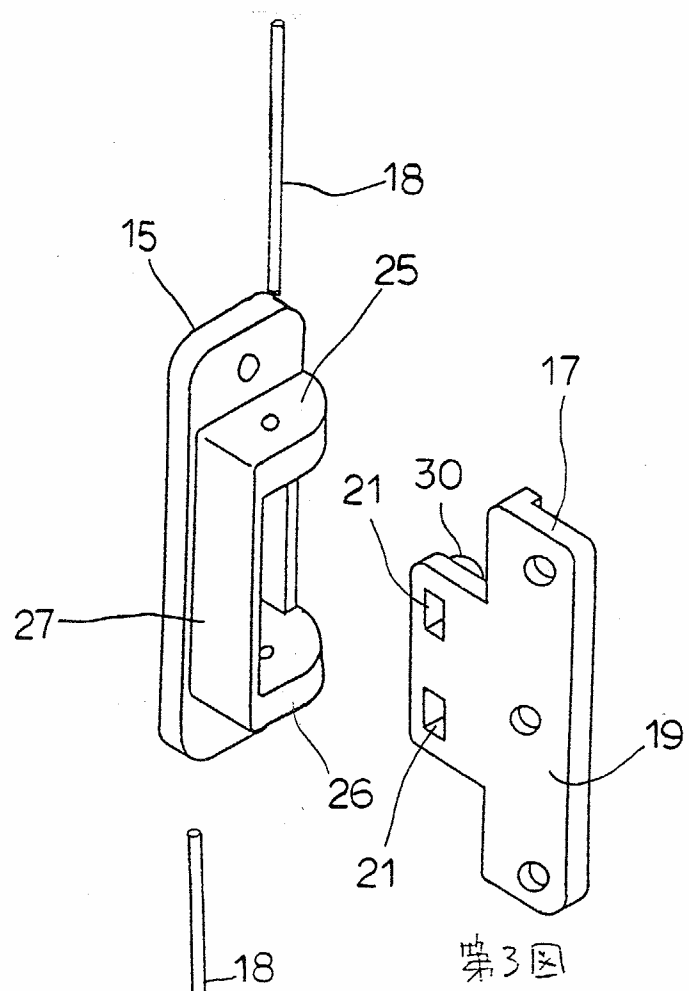
- a 観開き形式の左右一对の回動扉 4、5 と、両回転扉 4、5 の召合わせ部間隙 S を閉塞する召合わせ部材 12 とを備え、前記召合わせ部材 12 は蝶番 14 によって一方の回動

扉 4 に上下方向の枢支軸 18 廻りに回動自在に取付けられて、該召合わせ部材 12 は、回動扉 4、5 の内面側で召合わせ部間隙 S を閉塞する閉塞姿勢 A と、他方の回動扉 5 との衝突を回避すべく九十度以内の範囲で後方回動した回動姿勢 B とに回動自在とされ、召合わせ部材 12 を回避姿勢 B 方向に付勢するコイルバネ 20 が設けられ、一方の回動扉 4 の閉塞時に、召合わせ部材 12 内面側と、相對移動自在に当接して、召合わせ部材 12 を閉塞姿勢 A とさせる受承面部 23 がケース本体 2 側に設けられた扉構造に使用される蝶番 14 であって、

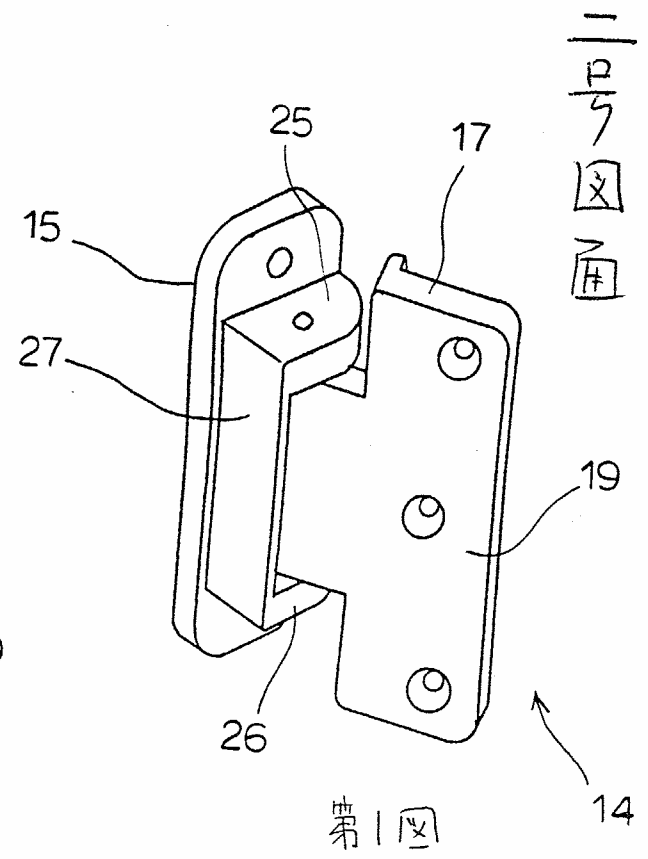
- b 前記蝶番 14 は、回動扉 4 の自由端に固定される固定翼 15 と、召合わせ部材 12 が取付けられる可動翼 17 とを有し、固定翼 15 には、上下一対の支持部 25、26 と該支持部 25、26 を回動扉 4 の枢支側で上下に連結する連結壁 27 とが一体に設けられ、支持部 25、26 間に前記上下方向の枢支軸 18 の上下両端部が撤合保持され、
- c 前記可動翼 17 には、召合わせ部材 12 が取付けられる取付部 19 と、該取付部 19 の裏面側から固定翼 15 の支持部 25、26 間に内嵌するように突出した一对の枢支部 30 とが一体に設けられ、該取付部 19 には、召合わせ部材 12 の内側基端部のコーナ部 12a を内嵌する平面 L 字形の取付面 19a が形成され、
- d 前記枢支部 30 の貫通孔 31 に、召合わせ部材 12 が回動扉 4 に対して枢支軸 18 廻り回動自在になるように、前記枢支軸 18 の中途部が挿通され、一对の枢支部 30 の間に

枢支軸 18 に巻回した状態で前記コイルバネ 20 が収納されている。

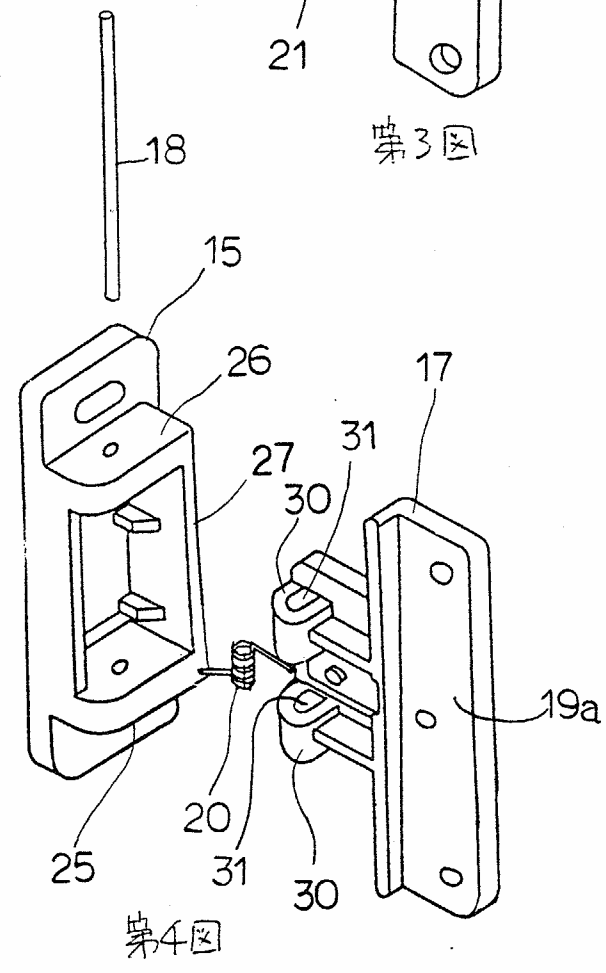
- e. 前記枢支部 30 は、第 7 図(A)及び(B)に示すように、貫通孔 31 を形成する突出部 711 を有する雄型 710 と、枢支部 30 自体を形成する凹部 721 を有する雌型 720 とからなる金型 700 によって形成されるのである。前記凹部 721 の長さ寸法と突出部 711 の長さ寸法とは、図 7(B)に示すように等しく設定されている。また、前記凹部 721 の深さは、突出部 711 の突出寸法より小さく設定されている。突出部 711 の突出寸法は、枢支部 30 の貫通孔 31 の直径に可動翼 17 の厚さ寸法を加えたものである。凹部 721 に突出部 711 が入ることで、枢支部 30 を形作るキャビティ 730 が構成される。また、凹部 721 と突出部 711 との長さ寸法が等しく設定されているので、形成された枢支部 30 には、貫通孔 31 が形成されることになる。このような金型 700 で枢支部 30 を形成すると、従来のように貫通孔を形成するための移動入子を必要としないので、金型の単純化及び製造工程の簡素化が図れるのである。なお、可動翼 17 の右側短辺近傍に形成された 2 つの凹み 21 は、雄型 710 の突出部 711 の跡である。従って、この凹み 21 は、前記貫通孔 31 と連通している。



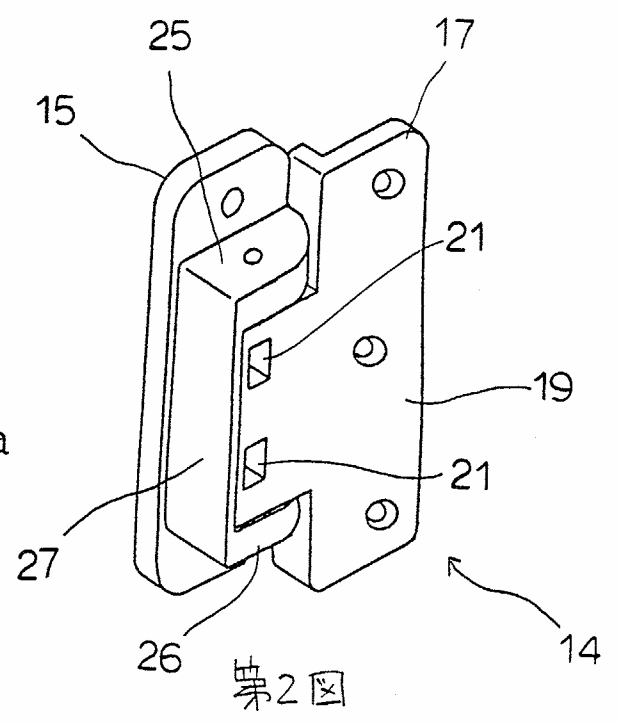
第3图



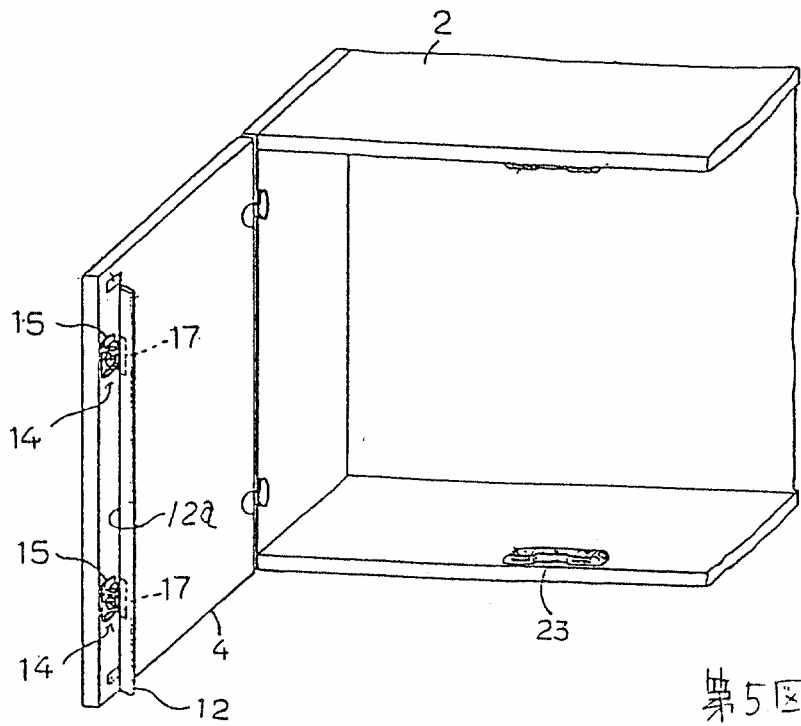
第1图



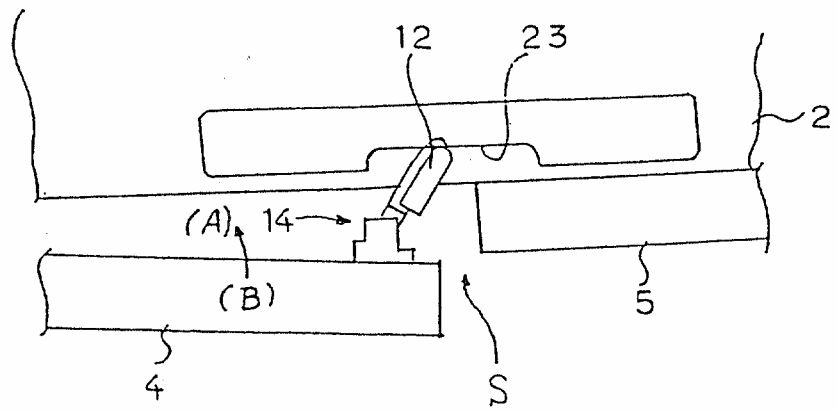
第4图



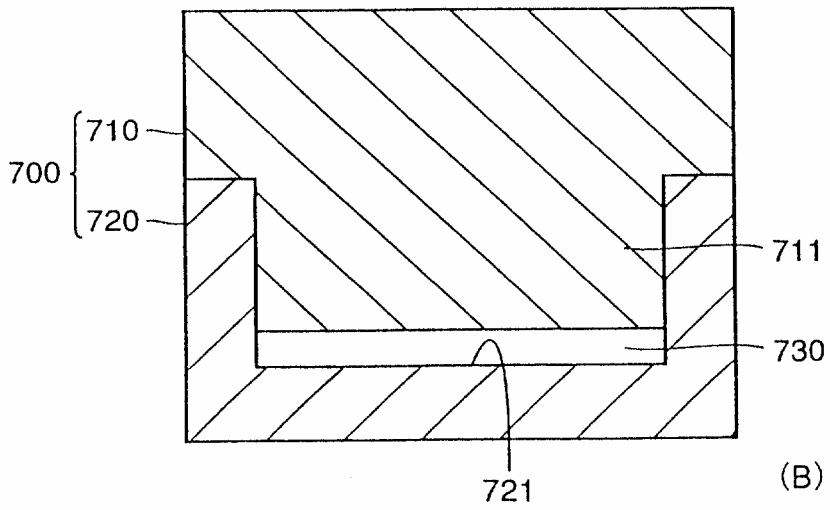
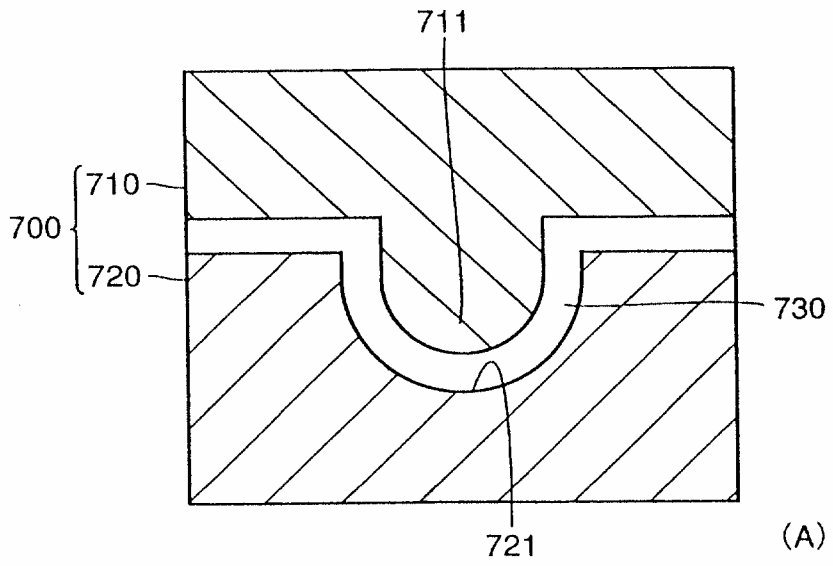
第2图



第5图



第6图



第7图

ホ号物件目録

ホ号物件の説明

一、図面の説明

図 1 は可動部材を倒した状態の平面図、図 2 は図 1 の右側図面、図 3 は図 2 において可動部材を自由状態にしたときの状態図、図 4 は図 3 の状態をその上方から見た背面図、図 5 は箱体への取付状態を示す斜視図、図 6 は開閉動作状態図である。

二、ホ号物件の構造の説明

ホ号物件は、次の構造を有する。

- a 観音開き形式の左右一対の回動扉 4、5 のうちの一方の回動扉 4 に、召合せ部材 12 を、回動扉 4、5 召合せ部材間隙 S を閉塞姿勢 A と他方の回動扉 5 との衝突を回避する回避姿勢 B とに回動自在になるように取付けるための召合せ部材取付け用ヒンジであって、
- b 一方の回動扉 4 の自由端に固定される固定部材 15 と、前記召合せ部材 12 を取り付ける可動部材 17 と、召合せ部材 12 を前記回避姿勢 B に付勢するバネ 20 とを有する召合せ部材取付け用ヒンジ 14 において、
- c 前記可動部材 17 は弾性を有する合成樹脂にて形成され、召合せ部材 12 を厚さ方向に挟持保持する取付部 29 を有し、当該取付部 29 は召合せ部材 12 の厚さ寸法より

小となった間隔で対向する一対の延設部 51 a、51 b を有しており、当該延設部 51 a、51 b の基端 52 から先端 51 a'、51 b'までの長さ寸法は、召合せ部材 12 の幅寸法より小となっており、当該延設部 51 a、51 b の基端 52 及び先端 51 a'、51 b'は、召合せ部材 12 の端部の形状に沿った湾曲線となっており、それぞれの延設部 51 a、51 b の先端 51 a'、51 b'の湾曲は、召合せ部材 12 の厚さ方向反対側にまで及んでいないことを特徴とする召合せ部材取り付け用ヒンジ

亦号图面

图 1

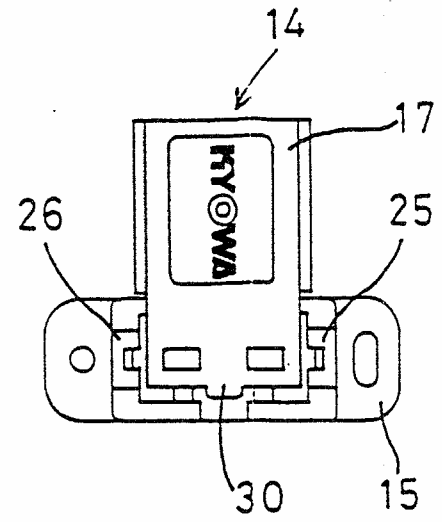


图 2

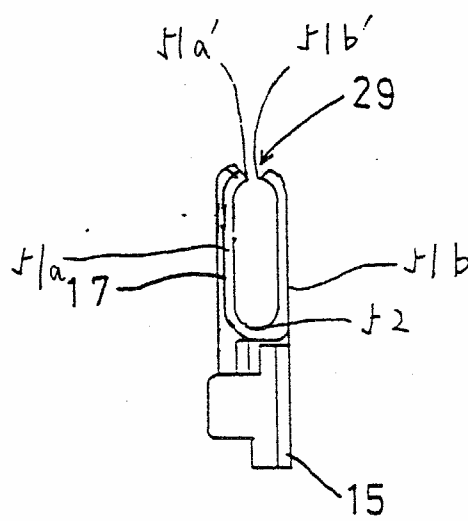


图 5

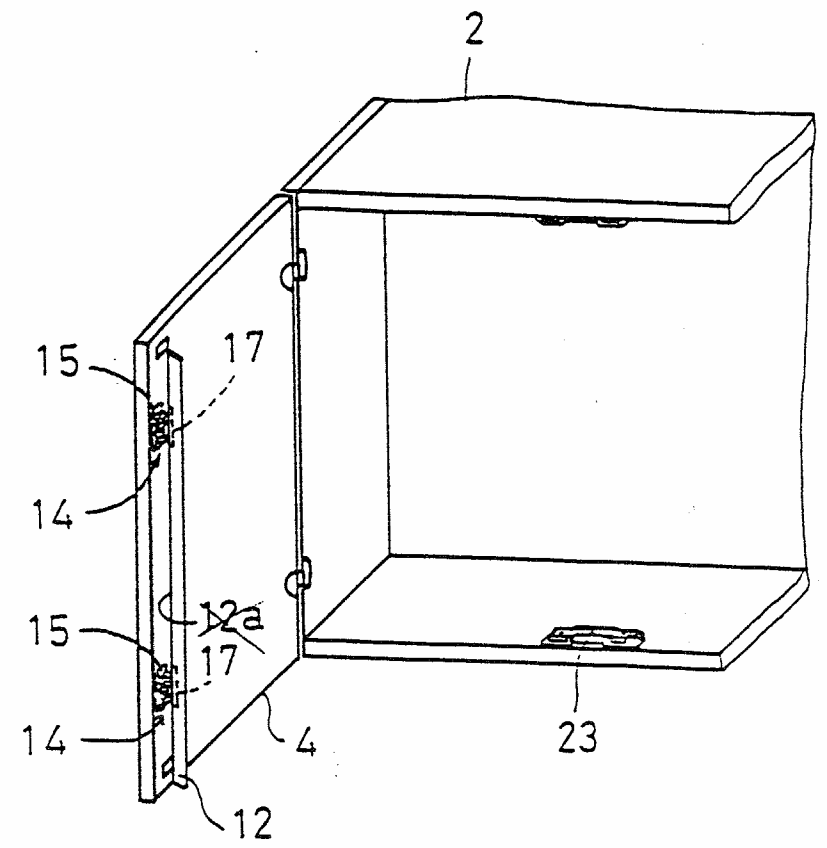


图 3

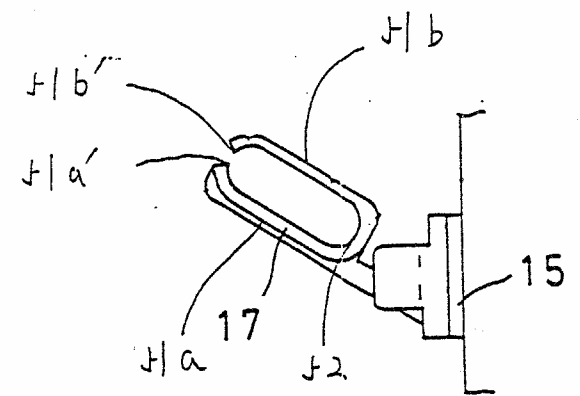


图 4

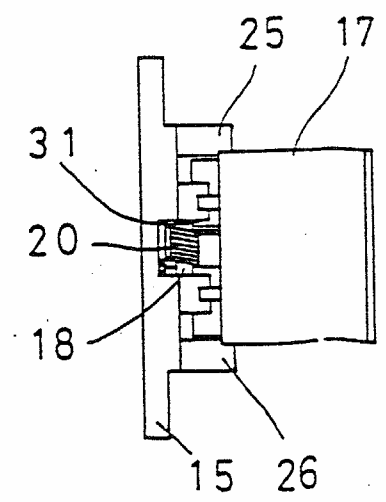
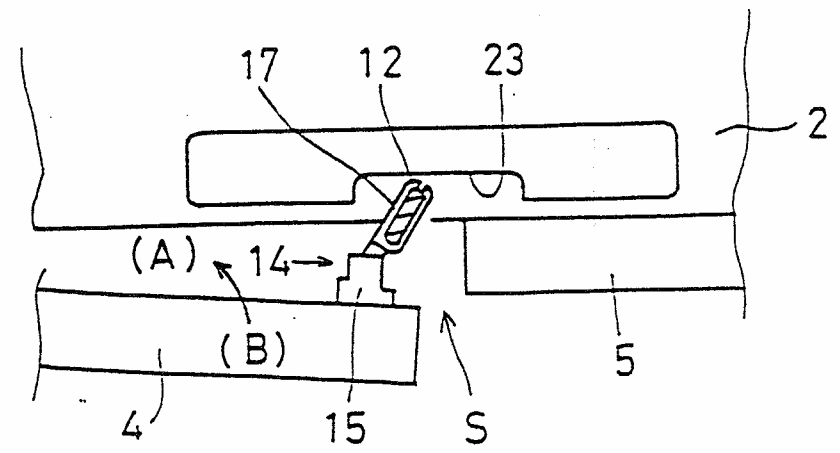


图 6



(別紙) 開き戸装置目録

1. 図面の説明

第1図・・・マジックヒンジを使った開き戸装置の斜視図

第2図・・・マジックヒンジを使った開き戸装置の開閉作用の説明図であり、

同図(A)は開き戸の開いた状態を、同図(B)は開き戸の半開き状態を、同図(C)は開き戸が閉じた状態をそれぞれ示すものである。

第3図・・・マジックヒンジの斜視図

第4図・・・マジックヒンジの分解斜視図

第5図・・・マグネットキャッチの斜視図

2. 構造の説明

この開き戸装置は、箱体400と、この箱体400に観音開き状に取り付けられた一对の開き戸410R、410Lと、箱体400の天板420と底板430との前縁部中央に取り付けられた一对のマグネットキャッチ200と、一方の開き戸410Lの自由端近傍の内面に取り付けられた一对のマジックヒンジ100と、このマジックヒンジ100の可動翼120に取り付けられた目隠し板300とを有している。

前記マジックヒンジ100は、一方の開き戸410Lへ付設される固定翼110と、目隠し板300が固定される可動翼120と、固定翼110と可動翼120とを回動可能に連結する軸部材130と、この軸部材130に巻回されており、マジックヒンジ100の屈曲状態を保持するスプリング140とから構成されている。

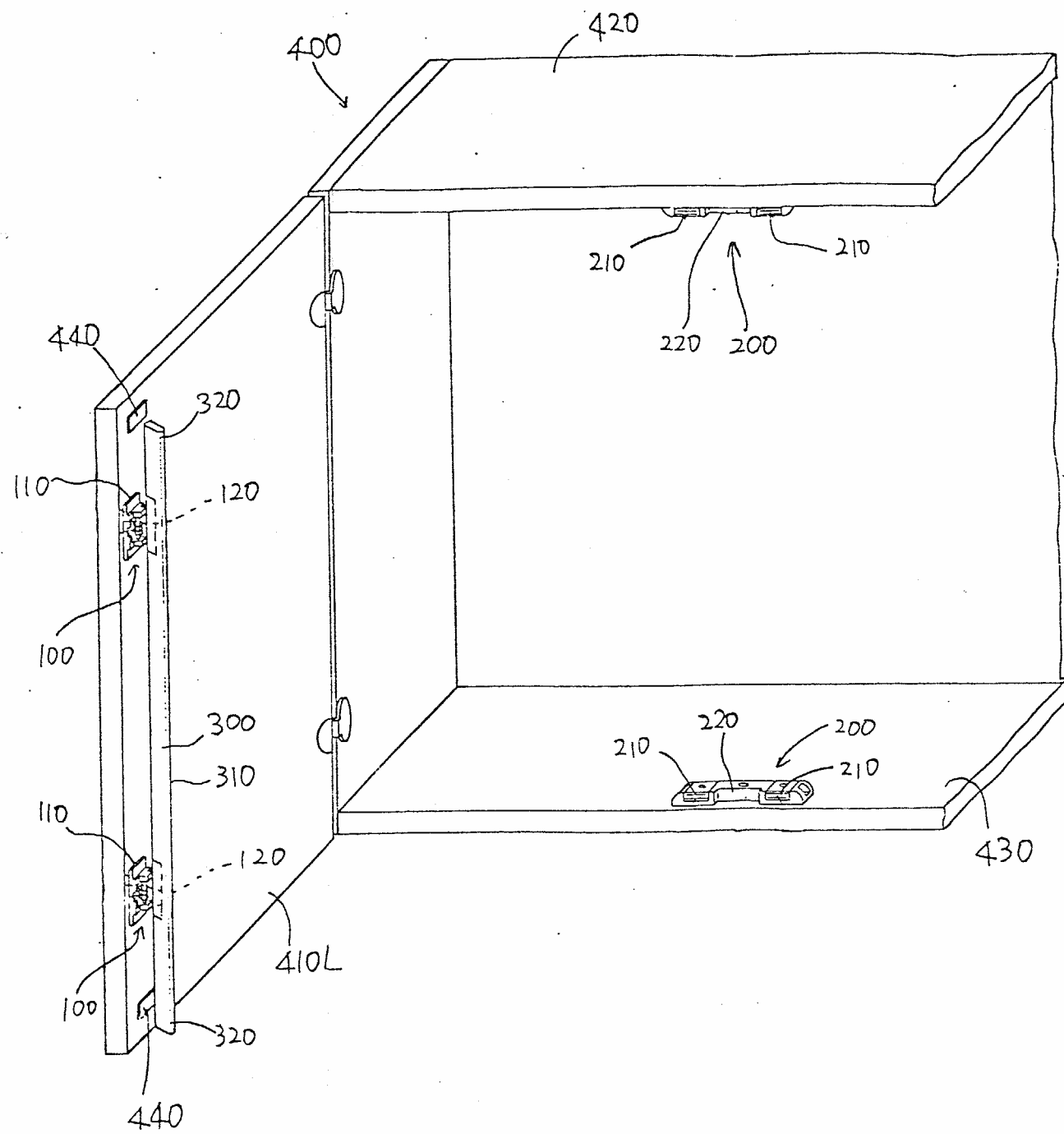
前記目隠し板300は、箱体400の上下高さより若干短く、かつ自由端310が円弧状に形成された帯板である。また、この目隠し板300は、一对の開き戸4

10R、410Lの間の隙間より若干幅広に構成されている。

マグネットキャッチ200は、箱体400の天板420と底板430との前縁部中央に取り付けられる横方向に長い矩形形状部材であって、左右両側のマグネット部210の間には、目隠し板300が開き戸410Lの半開き状態から閉じた状態まで回転する際、目隠し板300の自由端310の上下端部320が摺動する案内面221を有するカム220が設けられている。

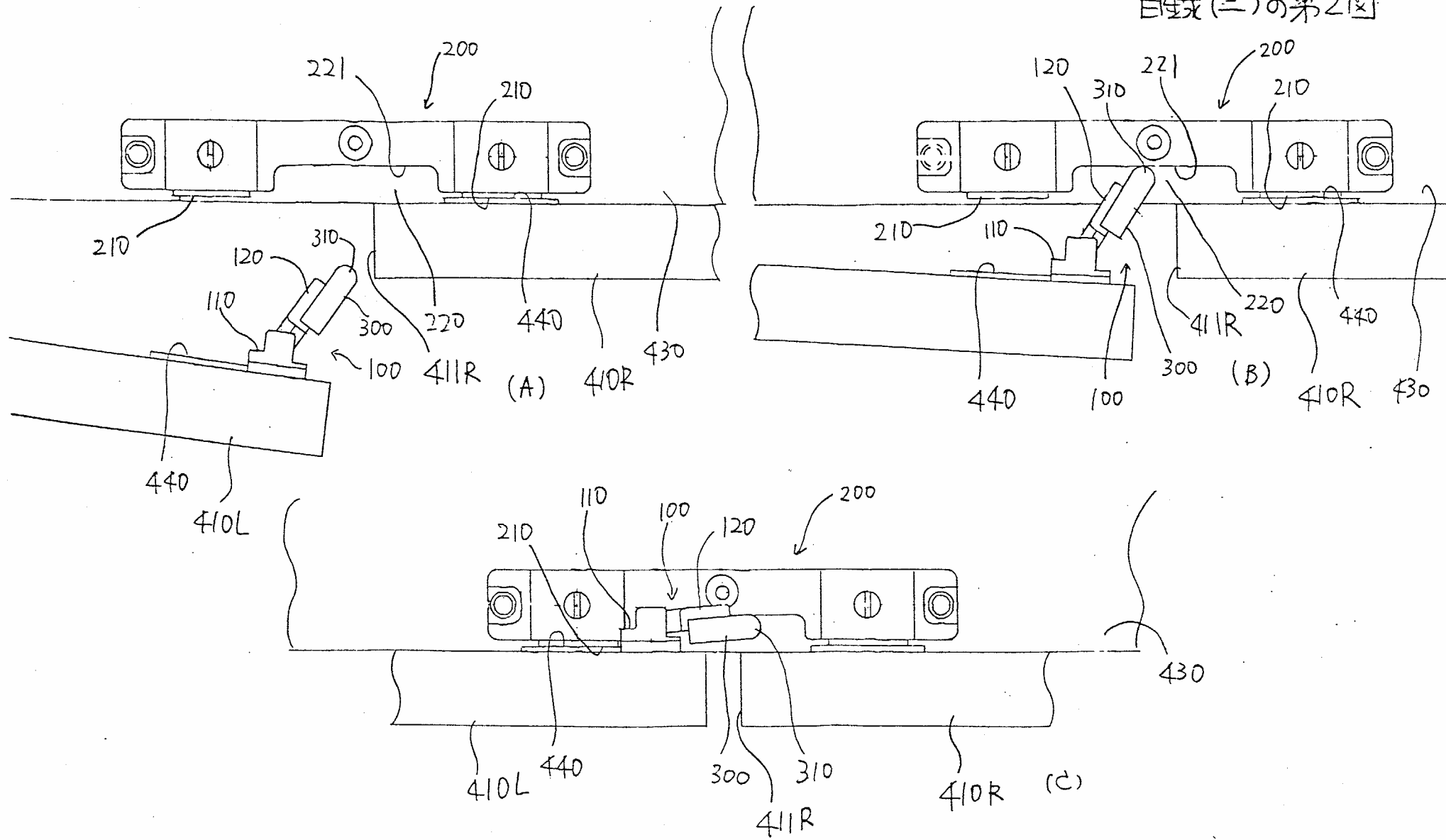
一方の開き戸410Lを閉じる場合、目隠し板300の自由端310の上下端は、閉状態にある他方の開き戸410Rの自由端411Rに接触せず、マグネットキャッチ200のカム220に接触する(第2図(A)及び(B)参照)。この状態、すなわち半開き状態からさらに開き戸410Lを閉じると、目隠し板300の自由端310の上下端は、開き戸410Lの閉方向への回転にともなってカム220の案内面221を摺動する。この摺動の際、目隠し板300は、マジックヒンジ100のスプリング140の弾性力に抗して可動翼120とともに軸部材130を中

心として回転する。そして、一方の開き戸410Lが完全に閉じると、第2図(C)に示すように、目隠し板300は、カム220に沿うようになり、一對の開き戸410R、410Lの間の隙間を閉塞する。開き戸410Lを開ける場合には逆になる。

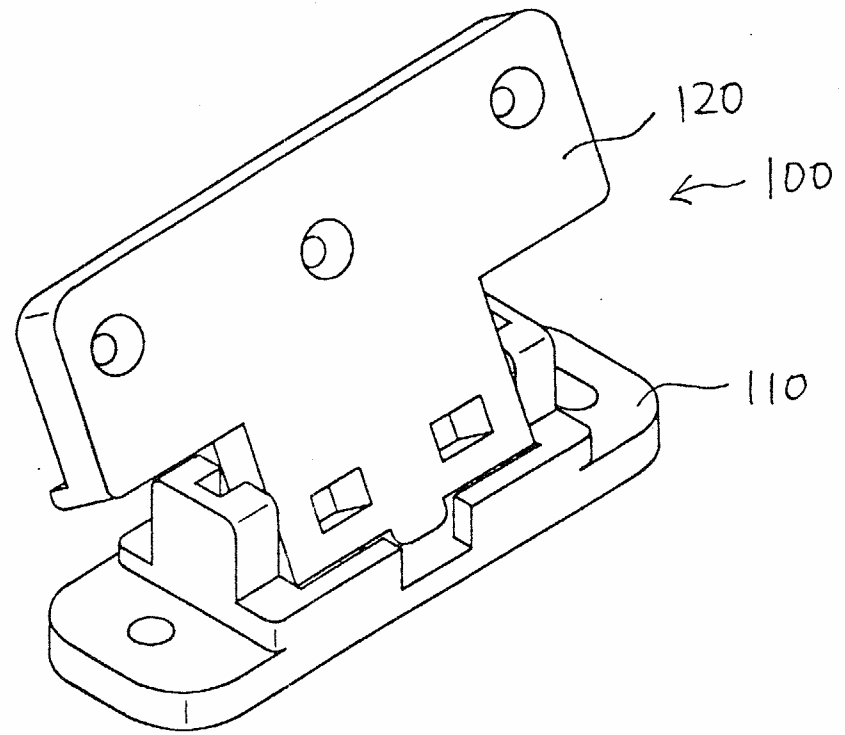


目録(二)の第1図

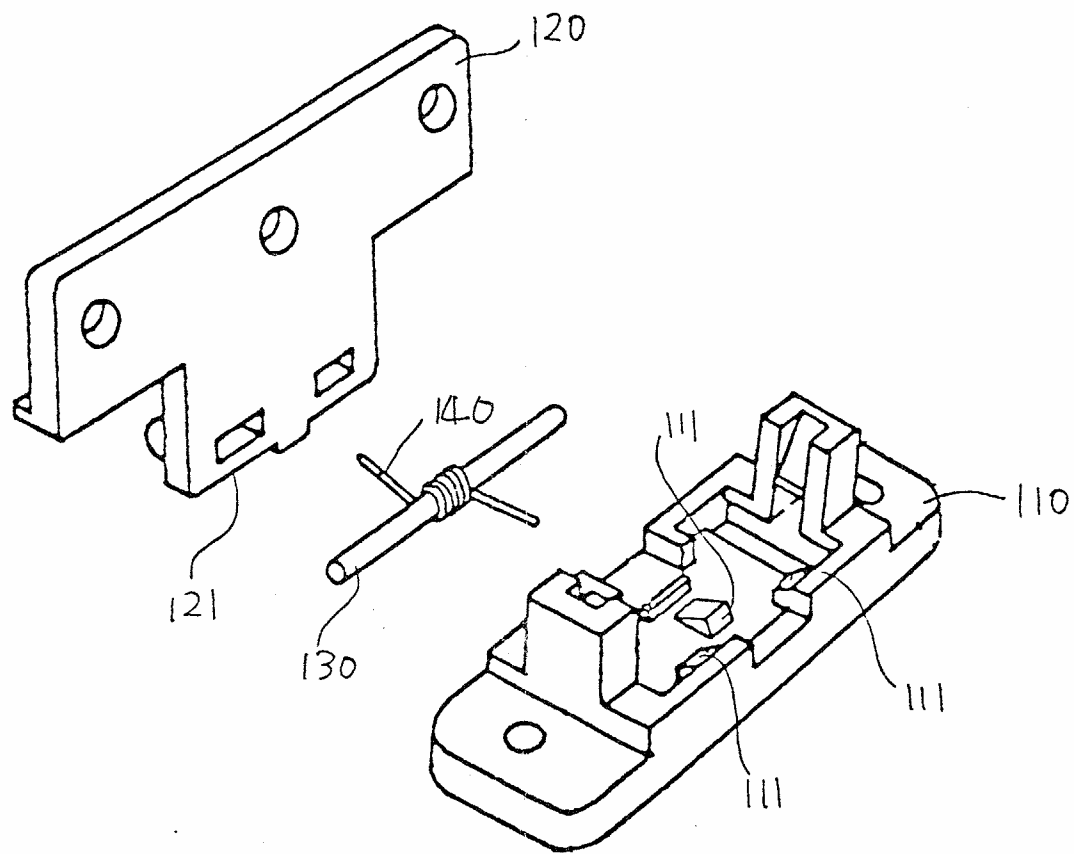
目録(二)の第2図



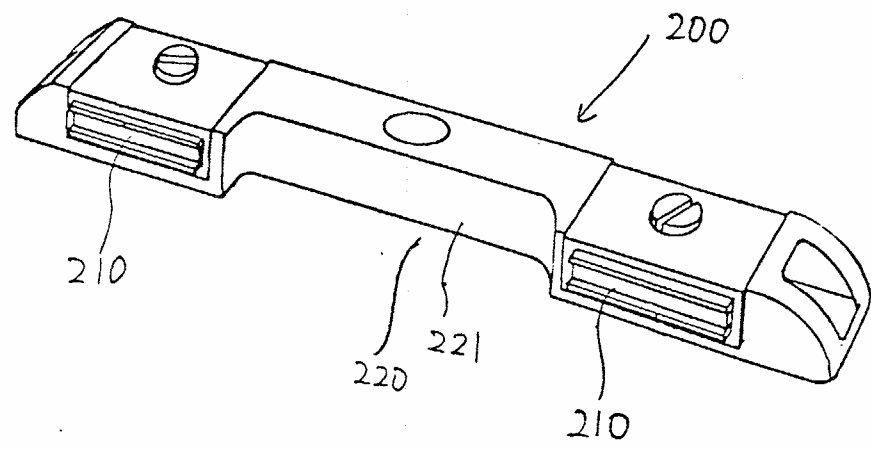
目録(二)の第3図



目録(二)の第4図



目録(=)の第5図



(別紙) 本件登録意匠の構成 (当事者の主張)

被告奥田製作所の主張	原告の主張
<p>意匠に係る物品の説明</p> <p>本件登録意匠に係わる物品は、家具の回動扉用ヒンジであって、とりわけタンス、水屋等の観音開き形式の左右一対の回動扉を備えた家具の回動扉に取り付けられるヒンジである。</p>	<p>認める。</p>
<p>基本的構成</p> <p>ヒンジは、回動扉の自由端に固定される縦長長方形の板状からなる固定部材と、召合せ部材が取り付けられる横長長方形の板状からなる可動部材とが回動自在に枢支されてなる構成である。</p>	<p>認める。</p>
<p>具体的構成</p> <p>① 固定部材は、四隅を孤形状とした縦長の長方形であり、その上下部には取付用の長孔が形成され、その中央部には上下一対の支持部と該支持部を連結する連結壁とが正面視コ形状に突設形成されると共に、背</p>	<p>① 認める。</p>

面側でその中央部に縦長長方形の窓孔が形成されている。

②ア 可動部材は、正面視において横長長方形であり、召合せ部材が取り付けられる取付部と、前記固定部材の支持部間に内嵌される枢支部とから構成され、

イ 前記取付部は、その表面側において階段状の段部が形成され、その裏面側において左右一对のC形状の突片が対向状に形成され、

ウ 前記枢支部は、枢支軸挿通用の円筒状に形成され、該円筒状部分の上下方向中央部に切欠部が形成され、該切欠部から枢支軸とコイルバネとが露呈している。

②ア 認める。

イ 認める。

ウ 次の2点を除き認める。

(a) 枢支部は、円筒状ではなく縦長のC字状である。

(b) 枢支部に切欠部は存在しない。

(別紙) ホ号意匠の構成 (当事者の主張)

被告奥田製作所の主張	原告の主張
意匠に係る物品の説明	
<p>ホ号意匠に係わる物品は、家具の回動扉用ヒンジであって、とりわけタンス、水屋等の観音開き形式の左右一対の回動扉を備えた家具の回動扉に取り付けられるヒンジである。</p>	認める。
基本的構成	
<p>ホ号意匠は、回動扉の自由端に固定される縦長長方形の板状からなる固定部材と、召合せ部材が取り付けられる横長長方形の板状からなる可動部材とが回動自在に枢支されてなる構成である。</p>	認める。
具体的構成	
<p>① 固定部材は、四隅を孤形状とした縦長の長方形であり、その上部に取付用の真円形状の孔が形成され、その下部には取付用の長孔が形成され、その中央部には上下一対の支持部と該支持部を連結する高さの低い連結壁とが突設形成され、該連結壁の上下方向中央部に凹部が形成され</p>	① 認める。

ると共に、背面側で前記支持部に対応する位置で上下一对の横長長方形の窓孔が形成されている。

②ア 可動部材は、正面視において横長長方形であり、召合せ部材が取り付けられる取付部と、前記固定部材の支持部間に内嵌される枢支部とから構成され、

イ 前記取付部は、長楕円形状に形成され、その端部にスリットが形成されている。

②ア 認める。

イ 前記取付部には、召合せ部材を厚さ方向に挟持すべく一对の延設部が設けられており、当該延設部の先端は、召合せ部材に沿って内側に湾曲している。

(別紙) 本件登録意匠とホ号意匠の構成 (裁判所の認定)

本件登録意匠の構成	ホ号意匠の構成
意匠に係る物品の説明	
<p>家具の回動扉用ヒンジであって、とりわけタンス、水屋等の観音開き形式の左右一对の回動扉を備えた家具の回動扉に取り付けられるヒンジである。</p>	同左
基本的構成	
<p>ヒンジは、回動扉の自由端に固定される縦長長方形の板状からなる固定部材と、召合せ部材が取り付けられる横長長方形の板状からなる可動部材とが回動自在に枢支されてなる構成である。</p>	同左
具体的構成	
<p>① 固定部材は、四隅を孤形状とした縦長の長方形であり、その上下部には取付用の長孔が形成され、その中央部には上下一対の支持部と該支持部を連結する連結壁とが正面視コ形状に突設形成されると共に、背面側でその中央部に縦長長方形の窓孔が形成されている。</p>	<p>① 固定部材は、四隅を孤形状とした縦長の長方形であり、その上部に取付用の真円形状の孔が形成され、その下部には取付用の長孔が形成され、その中央部には上下一対の支持部と該支持部を連結する高さの低い連結壁とが突設形成され、該連結壁の上下方向中央部に凹部が形成され</p>

②ア 可動部材は、正面視において横長長方形状であり、召合せ部材が取り付けられる取付部と、前記固定部材の支持部間に内嵌される枢支部とから構成され、

イ 前記取付部は、その表面側において階段状の段部が形成され、その裏面側において左右一对のC形状の突片が対向状に形成されて略C字状の断面を形成し、

ウ 前記枢支部は、その裏面側に枢支軸挿通用の円筒状部位が形成され、該円筒状部位の上下方向中央部にコイルバネを露出させる空間が設けられている。

ると共に、背面側で前記支持部に対応する位置で上下一対の横長長方形状の窓孔が形成されている。

②ア 同左

イ 前記取付部には、その表面側において略長方形状の段部が形成され、その裏側において召合せ部材を厚さ方向に挟持すべくU字状の一对の延設部が設けられており、当該延設部の先端は、召合せ部材に沿って内側に湾曲している。

ウ 前記枢支部は、その表側面から側裏面を貫く2か所の長方形孔が設けられ、裏側面の該孔に対応する部分に枢支軸挿通用の略C字状部位が形成され、該略C字状部位の上下方向中央部にコイルバネを露出させる空間が設けられている。

別紙

原告の帳簿に基づくイ号、ハ号、ホ号の集計表

侵害論争と関係が無い「バネ無しのもの」を除く

			イ号		ハ号		ホ号		合計	
			原告主張の権利＝第2考案（出願日昭和59年（1984年）12月25日、出願公告日平成1年4月7日）		原告主張の権利＝①第2考案（出願日昭和59年（1984年）12月25日、出願公告日平成1年4月7日）、②第3考案（出願日平成1年4月7日、出願公告日平成7年7月31日）、③意匠権（出願日平成1年3月31日、登録日平成6年4月22日）		原告主張の権利＝①第3考案（出願日平成1年4月7日、出願公告日平成7年7月31日）、②意匠権（登録日平成6年4月22日）			
番号	年 月		マジックペン2（イ号）		マジックペン4（ハ号）		マジックペン5（ホ号）		マジックペン総合計	
			数量	売上金額	数量	売上金額	数量	売上金額	数量	売上金額
1	1991(H3)	4	59,540	1,414,200					59,540	1,414,200
2		5	53,440	1,249,580					53,440	1,249,580
3		6	38,366	932,248					38,366	932,248
4		7	47,340	1,056,380					47,340	1,056,380
5		8	26,994	597,380					26,994	597,380
6		9	48,060	1,101,180					48,060	1,101,180
7		10	31,260	769,280					31,260	769,280
8		11	46,495	1,098,090	12,200	379,200			58,695	1,477,290
9		12	48,200	1,003,700	9,000	282,000			57,200	1,285,700
10	1992(H4)	1	33,000	756,100	11,200	348,800			44,200	1,104,900
11		2	65,200	1,484,100	13,636	404,988			78,836	1,889,088
12		3	39,740	876,780	29,200	868,700			68,940	1,745,480
13	平成4年4月	4	50,220	1,079,340	23,200	685,000			73,420	1,764,340
14		5	54,500	1,147,100	15,100	444,500			69,600	1,591,600
15		6	77,860	1,603,500	25,726	749,316			103,586	2,352,816
16		7	51,900	1,117,700	27,900	828,000			79,800	1,945,700
17		8	77,800	1,622,500	20,650	614,900			98,450	2,237,400
18		9	65,200	1,411,280	27,850	838,500			93,050	2,249,780
19		10	60,740	1,258,300	28,360	827,220			89,100	2,085,520
20		11	76,953	1,595,960	53,081	1,566,065			130,034	3,162,025
21		12	52,500	1,102,000	30,453	915,008			82,953	2,017,008
22	1993(H5)	1	64,300	1,352,300	30,490	921,870			94,790	2,274,170
23		2	55,250	1,133,400	13,100	372,500			68,350	1,505,900
24		3	60,500	1,279,300	20,800	663,000			81,300	1,942,300
25		4	45,334	970,200	12,500	397,100			57,834	1,367,300
26		5	42,850	913,300	17,056	548,160			59,906	1,461,460
27		6	42,900	909,500	14,400	482,000			57,300	1,391,500
28		7	47,000	984,000	37,650	1,165,950			84,650	2,149,950

		イ号		ハ号		ホ号		合計	
		原告主張の権利＝第2考案（出願日昭和59年（1984年）12月25日、出願公告日平成1年4月7日）		原告主張の権利＝①第2考案（出願日昭和59年（1984年）12月25日、出願公告日平成1年4月7日）、②第3考案（出願日平成1年4月7日、出願公告日平成7年7月31日）、③意匠権（出願日平成1年3月31日、登録日平成6年4月22日）		原告主張の権利＝①第3考案（出願日平成1年4月7日、出願公告日平成7年7月31日）、②意匠権（登録日平成6年4月22日）			
番号	年月	マジックビジ 2（イ号）		マジックビジ 4（ハ号）		マジックビジ 5（ホ号）		マジックビジ 総合計	
		数量	売上金額	数量	売上金額	数量	売上金額	数量	売上金額
29	8	51,366	1,098,480	32,100	959,600			83,466	2,058,080
30	9	54,000	1,110,000	34,360	1,039,250			88,360	2,149,250
31	10	51,000	1,081,500	40,000	1,127,600			91,000	2,209,100
32	11	56,540	1,149,530	34,832	1,012,760			91,372	2,162,290
33	12	63,350	1,304,000	29,820	892,060			93,170	2,196,060
34	1994(H6)	40,000	821,000	28,500	864,000			68,500	1,685,000
35		55,000	991,000	35,391	1,043,194			90,391	2,034,194
36		49,598	911,040	25,200	698,200			74,798	1,609,240
37		56,000	967,000	42,430	1,249,550			98,430	2,216,550
38		47,000	769,500	38,370	1,138,270			85,370	1,907,770
39		48,700	816,500	47,968	1,383,380			96,668	2,199,880
40		50,520	870,260	20,140	608,900			70,660	1,479,160
41		40,575	665,302	39,220	1,152,460			79,795	1,817,762
42		51,752	897,460	34,420	1,035,060			86,172	1,932,520
43		41,100	664,500	27,860	854,380			68,960	1,518,880
44		62,476	1,070,664	39,281	1,155,035			101,757	2,225,699
45		58,900	1,009,400	33,375	980,300			92,275	1,989,700
46	1995(H7)	43,000	707,500	17,831	524,068			60,831	1,231,568
47		48,700	825,900	22,382	622,870			71,082	1,448,770
48		44,100	881,800	22,480	611,800			66,580	1,493,600
49		22,200	442,900	24,050	655,900			46,250	1,098,800
50		25,000	498,500	13,405	367,025			38,405	865,525
51		22,082	440,960	32,020	896,560			54,102	1,337,520
52	平成7年7月	16,800	341,100	22,622	639,060			39,422	980,160
53		23,202	484,344	10,400	293,000			33,602	777,344
54		18,596	370,112	25,819	698,475			44,415	1,068,587
55		22,952	472,896	27,350	771,200			50,302	1,244,096
56		20,270	414,940	21,330	617,490			41,600	1,032,430
57		18,280	376,290	20,460	589,680			38,740	965,970
58	1996(H8)	24,620	494,360	25,663	736,650			50,283	1,231,010
59		19,116	388,952	26,399	753,175			45,515	1,142,127
60		17,014	350,816	21,320	631,560			38,334	982,376
61		19,399	405,278	0	0	22,780	663,900	42,179	1,069,178

			イ号		ハ号		ホ号		合計	
			原告主張の権利＝第2考案（出願日昭和59年（1984年）12月25日、出願公告日平成1年4月7日）		原告主張の権利＝①第2考案（出願日昭和59年（1984年）12月25日、出願公告日平成1年4月7日）、②第3考案（出願日平成1年4月7日、出願公告日平成7年7月31日）、③意匠権（出願日平成1年3月31日、登録日平成6年4月22日）		原告主張の権利＝①第3考案（出願日平成1年4月7日、出願公告日平成7年7月31日）、②意匠権（登録日平成6年4月22日）			
番号	年	月	マジックビジ 2（イ号）		マジックビジ 4（ハ号）		マジックビジ 5（ホ号）		マジックビジ 総合計	
			数量	売上金額	数量	売上金額	数量	売上金額	数量	売上金額
62		5	23,706	482,432	0	0	18,660	507,880	42,366	990,312
63		6	20,784	429,948	0	0	31,040	874,120	51,824	1,304,068
64		7	22,172	452,284	0	0	30,630	890,490	52,802	1,342,774
65		8	22,702	468,544	0	0	27,423	802,539	50,125	1,271,083
66		9	18,471	374,174	0	0	29,960	850,180	48,431	1,224,354
67		10	24,621	519,952	0	0	16,618	503,864	41,239	1,023,816
68		11	19,544	397,968	0	0	31,344	939,592	50,888	1,337,560
69		12	28,638	588,036	0	0	36,392	1,058,820	65,030	1,646,856
70	1997(H9)	1	20,478	429,116	0	0	26,808	795,900	47,286	1,225,016
71		2	23,522	486,984	0	0	24,660	723,340	48,182	1,210,324
72		3	19,950	408,800	0	0	24,804	745,180	44,754	1,153,980
73		4	23,764	487,808	0	0	31,010	895,630	54,774	1,383,438
74		5	22,522	456,764	0	0	21,440	610,470	43,962	1,067,234
75		6	22,884	461,613	0	0	37,294	1,090,892	60,178	1,552,505
76		7	17,926	360,992	0	0	23,855	714,025	41,781	1,075,017
77		8	23,638	482,946	0	0	16,120	450,680	39,758	933,626
78		9	18,198	369,656	0	0	28,647	833,985	46,845	1,203,641
79		10	25,994	520,868	0	0	12,254	359,626	38,248	880,494
80		11	26,126	466,552	0	0	30,140	886,110	56,266	1,352,662
81		12	38,871	653,124	0	0	26,300	782,400	65,171	1,435,524
82	1998(H10)	1	20,094	342,228	0	0	15,188	454,424	35,282	796,652
83		2	28,830	502,498	0	0	28,245	787,225	57,075	1,289,723
84		3	33,320	595,240	0	0	26,520	757,790	59,840	1,353,030
85		4	38,638	687,836	0	0	37,323	1,063,991	75,961	1,751,827
86		5	27,138	483,834	0	0	30,402	883,710	57,540	1,367,544
87		6	31,694	567,928	0	0	42,939	1,234,027	74,633	1,801,955
88		7	24,936	455,924	0	0	26,004	756,484	50,940	1,212,408
89		8	27,899	480,540	0	0	24,501	694,297	52,400	1,174,837
90		9	39,812	691,304	0	0	22,033	641,049	61,845	1,332,353
91		10	35,932	661,518	0	0	18,351	560,400	54,283	1,221,918
92		11	52,974	944,632	0	0	15,438	447,032	68,412	1,391,664
93		12	37,457	671,468	0	0	11,254	345,508	48,711	1,016,976
94	1999(H11)	1	33,534	598,374	0	0	11,742	345,916	45,276	944,290

			イ号		ハ号		ホ号		合計	
			原告主張の権利＝第2考案（出願日昭和59年（1984年）12月25日、出願公告日平成1年4月7日）		原告主張の権利＝①第2考案（出願日昭和59年（1984年）12月25日、出願公告日平成1年4月7日）、②第3考案（出願日平成1年4月7日、出願公告日平成7年7月31日）、③意匠権（出願日平成1年3月31日、登録日平成6年4月22日）		原告主張の権利＝①第3考案（出願日平成1年4月7日、出願公告日平成7年7月31日）、②意匠権（登録日平成6年4月22日）			
番号	年	月	マジックビジ2（イ号）		マジックビジ4（ハ号）		マジックビジ5（ホ号）		マジックビジ総合計	
			数量	売上金額	数量	売上金額	数量	売上金額	数量	売上金額
95		2	40,378	713,115	0	0	13,949	408,685	54,327	1,121,800
96		3	45,666	810,492	0	0	7,643	228,940	53,309	1,039,432
97		4	13,700	234,220	0	0	16,260	493,760	29,960	727,980
98		5	0	0	0	0	9,252	268,920	9,252	268,920
99		6	0	0	0	0	9,056	277,035	9,056	277,035
100		総計	3,743,163	74,652,194	1,390,350	40,905,289	914,279	26,628,816	6,047,792	142,186,299

損害額等計算表①

		(H4. 4. 1 ~ H7. 4. 30)				(H4. 4. 27 ~ H7. 4. 26)					
年	月	イ号物件		ハ号物件		イ号物件		ハ号物件		合計	
		売上数	売上額	売上数	売上額	売上数	売上数	売上数	売上額		
平成4年	4	50,220	1,079,340	23,200	685,000	6,696	3,093	9,789		235,245	
	5	54,500	1,147,100	15,100	444,500	54,500	15,100	69,600		1,591,600	
	6	77,860	1,603,500	25,726	749,316	77,860	25,726	103,586		2,352,816	
	7	51,900	1,117,700	27,900	828,000	51,900	27,900	79,800		1,945,700	
	8	77,800	1,622,500	20,650	614,900	77,800	20,650	98,450		2,237,400	
	9	65,200	1,411,280	27,850	838,500	65,200	27,850	93,050		2,249,780	
	10	60,740	1,258,300	28,360	827,220	60,740	28,360	89,100		2,085,520	
	11	76,953	1,595,960	53,081	1,566,065	76,953	53,081	130,034		3,162,025	
	12	52,500	1,102,000	30,453	915,008	52,500	30,453	82,953		2,017,008	
平成5年	1	64,300	1,352,300	30,490	921,870	64,300	30,490	94,790		2,274,170	
	2	55,250	1,133,400	13,100	372,500	55,250	13,100	68,350		1,505,900	
	3	60,500	1,279,300	20,800	663,000	60,500	20,800	81,300		1,942,300	
	4	45,334	970,200	12,500	397,100	45,334	12,500	57,834		1,367,300	
	5	42,850	913,300	17,056	548,160	42,850	17,056	59,906		1,461,460	
	6	42,900	909,500	14,400	482,000	42,900	14,400	57,300		1,391,500	
	7	47,000	984,000	37,650	1,165,950	47,000	37,650	84,650		2,149,950	
	8	51,366	1,098,480	32,100	959,600	51,366	32,100	83,466		2,058,080	
	9	54,000	1,110,000	34,360	1,039,250	54,000	34,360	88,360		2,149,250	
	10	51,000	1,081,500	40,000	1,127,600	51,000	40,000	91,000		2,209,100	
	11	56,540	1,149,530	34,832	1,012,760	56,540	34,832	91,372		2,162,290	
	12	63,350	1,304,000	29,820	892,060	63,350	29,820	93,170		2,196,060	
平成6年	1	40,000	821,000	28,500	864,000	40,000	28,500	68,500		1,685,000	
	2	55,000	991,000	35,391	1,043,194	55,000	35,391	90,391		2,034,194	
	3	49,598	911,040	25,200	698,200	49,598	25,200	74,798		1,609,240	
	4	56,000	967,000	42,430	1,249,550	56,000	42,430	98,430		2,216,550	
	5	47,000	769,500	38,370	1,138,270	47,000	38,370	85,370		1,907,770	
	6	48,700	816,500	47,968	1,383,380	48,700	47,968	96,668		2,199,880	
	7	50,520	870,260	20,140	608,900	50,520	20,140	70,660		1,479,160	
	8	40,575	665,302	39,220	1,152,460	40,575	39,220	79,795		1,817,762	
	9	51,752	897,460	34,420	1,035,060	51,752	34,420	86,172		1,932,520	
	10	41,100	664,500	27,860	854,380	41,100	27,860	68,960		1,518,880	
	11	62,476	1,070,664	39,281	1,155,035	62,476	39,281	101,757		2,225,699	
	12	58,900	1,009,400	33,375	980,300	58,900	33,375	92,275		1,989,700	
平成7年	1	43,000	707,500	17,831	524,068	43,000	17,831	60,831		1,231,568	
	2	48,700	825,900	22,382	622,870	48,700	22,382	71,082		1,448,770	
	3	44,100	881,800	22,480	611,800	44,100	22,480	66,580		1,493,600	
	4	22,200	442,900	24,050	655,900	19,240	20,843	40,083		952,293	
合計						1,915,200	1,045,012	2,960,212		68,487,040	

損害額等計算表②

		(H7. 7. 1~H11. 6. 30)				(H7. 7. 15~H11. 6. 30)			
		イ号物件		ハ号物件		ホ号物件		合計	
年	月	売上数	売上額	売上数	売上額	売上数	売上額	売上数	売上額
平成7年	7	16,800	341,100	22,622	639,060			21,619	537,507
	8	23,202	484,344	10,400	293,000			33,602	777,344
	9	18,596	370,112	25,819	698,475			44,415	1,068,587
	10	22,952	472,896	27,350	771,200			50,302	1,244,096
	11	20,270	414,940	21,330	617,490			41,600	1,032,430
	12	18,280	376,290	20,460	589,680			38,740	965,970
平成8年	1	24,620	494,360	25,663	736,650			50,283	1,231,010
	2	19,116	388,952	26,399	753,175			45,515	1,142,127
	3	17,014	350,816	21,320	631,560			38,334	982,376
	4	19,399	405,278	0	0	22,780	663,900	42,179	1,069,178
	5	23,706	482,432	0	0	18,660	507,880	42,366	990,312
	6	20,784	429,948	0	0	31,040	874,120	51,824	1,304,068
	7	22,172	452,284	0	0	30,630	890,490	52,802	1,342,774
	8	22,702	468,544	0	0	27,423	802,539	50,125	1,271,083
	9	18,471	374,174	0	0	29,960	850,180	48,431	1,224,354
	10	24,621	519,952	0	0	16,618	503,864	41,239	1,023,816
	11	19,544	397,968	0	0	31,344	939,592	50,888	1,337,560
	12	28,638	588,036	0	0	36,392	1,058,820	65,030	1,646,856
平成9年	1	20,478	429,116	0	0	26,808	795,900	47,286	1,225,016
	2	23,522	486,984	0	0	24,660	723,340	48,182	1,210,324
	3	19,950	408,800	0	0	24,804	745,180	44,754	1,153,980
	4	23,764	487,808	0	0	31,010	895,630	54,774	1,383,438
	5	22,522	456,764	0	0	21,440	610,470	43,962	1,067,234
	6	22,884	461,613	0	0	37,294	1,090,892	60,178	1,552,505
	7	17,926	360,992	0	0	23,855	714,025	41,781	1,075,017
	8	23,638	482,946	0	0	16,120	450,680	39,758	933,626
	9	18,198	369,656	0	0	28,647	833,985	46,845	1,203,641
	10	25,994	520,868	0	0	12,254	359,626	38,248	880,494
	11	26,126	466,552	0	0	30,140	886,110	56,266	1,352,662
	12	38,871	653,124	0	0	26,300	782,400	65,171	1,435,524
平成10年	1	20,094	342,228	0	0	15,188	454,424	35,282	796,652
	2	28,830	502,498	0	0	28,245	787,225	57,075	1,289,723
	3	33,320	595,240	0	0	26,520	757,790	59,840	1,353,030
	4	38,638	687,836	0	0	37,323	1,063,991	75,961	1,751,827
	5	27,138	483,834	0	0	30,402	883,710	57,540	1,367,544
	6	31,694	567,928	0	0	42,939	1,234,027	74,633	1,801,955
	7	24,936	455,924	0	0	26,004	756,484	50,940	1,212,408
	8	27,899	480,540	0	0	24,501	694,297	52,400	1,174,837
	9	39,812	691,304	0	0	22,033	641,049	61,845	1,332,353
	10	35,932	661,518	0	0	18,351	560,400	54,283	1,221,918
	11	52,974	944,632	0	0	15,438	447,032	68,412	1,391,664
	12	37,457	671,468	0	0	11,254	345,508	48,711	1,016,976
平成11年	1	33,534	598,374	0	0	11,742	345,916	45,276	944,290
	2	40,378	713,115	0	0	13,949	408,685	54,327	1,121,800
	3	45,666	810,492	0	0	7,643	228,940	53,309	1,039,432
	4	13,700	234,220	0	0	16,260	493,760	29,960	727,980
	5	—	—	0	0	9,252	268,920	9,252	268,920
	6	—	—	0	0	9,056	277,035	9,056	277,035
合計							2,294,601	54,755,253	

		イ号物件(H3. 4. 1～H4. 4. 26)		
年	月	日割計算前	日割計算後	
平成3年	4	59,540	59,540	
	5	53,440	53,440	
	6	38,366	38,366	
	7	47,340	47,340	
	8	26,994	26,994	
	9	48,060	48,060	
	10	31,260	31,260	
	11	46,495	46,495	
	12	48,200	48,200	
	平成4年	1	33,000	33,000
		2	65,200	65,200
		3	39,740	39,740
4		50,220	43,524	
合計		587,855	581,159	
平均(H3. 4～H4. 3)		44,803		

単位：個数

年	月	八号物件(～H4. 4. 26)	
		日割計算前	日割計算後
平成3年	11	12,200	12,200
	12	9,000	9,000
平成4年	1	11,200	11,200
	2	13,636	13,636
	3	29,200	29,200
	4	23,200	20,107
合計			95,343

単位：個数

		(H7. 4. 27 ~ H7. 7. 14)			
		イ号物件		ハ号物件	
年	月	日割計算前	日割計算後	日割計算前	日割計算後
平成7年	4	22,200	2,960	24,050	3,207
	5	25,000	25,000	13,405	13,405
	6	22,082	22,082	32,020	32,020
	7	16,800	7,587	22,622	10,216
合計			57,629		58,848

単位：個数